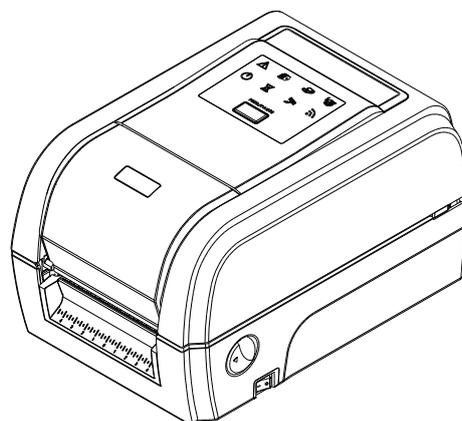


TX200/ TX300/ TX600 シリーズ

熱転写式/感熱式バーコードプリンタ

取扱説明書



著作権情報

©2014 TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本説明書、また本説明書内に記載されるプリンタ搭載ソフトウェアおよびファームウェアの著作権は TSC Auto ID Technology Co., Ltd の所有です。無断転載および複製を禁じます。

CG Triumvirate は Agfa Corporation の商標です。CG Triumvirate Bold Condensed フォントは Monotype Corporation による特許所有です。Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。

その他の商標は各社の所有です。

本書における情報は事前の通知なしに変更される場合があります、TSC Auto ID Technology Co.側のいかなる義務も示すものではありません。本書のいかなる部分も、TSC Auto ID Technology Co.の書面による事前の許可なく、購入者の個人的使用以外の目的で複製または転送することは、形態、手段のいかんを問わず、固く禁止します。

事業コンプライアンスおよび認可

	EN 55022、クラス B EN 55024 EN 60950-1
	FCC パート 15B、クラス B
	AS/NZS CISPR 22、クラス B
	UL 60950-1
	EN 60950-1
	GB 4943.1 GB 9254 GB 17625.1

Wichtige Sicherheits-Hinweise

1. Bitte lesen Sie diese Hinweis sorgfältig durch.
2. Heben Sie diese Anleitung für den späteren Gebrauch auf.
3. Vor jedem Reinigen ist das Gerät vom Stromnetz zu trennen. Verwenden Sie keine Flüssig-oder Aerosolreiniger. Am besten eignet sich ein angefeuchtetes Tuch zur Reinigung.
4. Die Netzanschluß-Steckdose soll nahe dem Gerät angebracht und leicht zugänglich sein.
5. Das Gerät ist vor Feuchtigkeit zu schützen.
6. Bei der Aufstellung des Gerätes ist auf sicheren Stand zu achten. Ein Kippen oder Fallen könnte Beschädigungen hervorrufen.
7. Beachten Sie beim Anschluß ans Stromnetz die Anschlußwerte.
8. Dieses Gerät kann bis zu einer Außentemperatur von maximal 40°C betrieben werden.

バッテリーの安全性に関する警告:

火の中に投下しないでください。

接点を短絡させないでください。

バッテリーを分解しないでください。

バッテリーを一般廃棄物に捨てないでください。

バッ印の車輪付きゴミ箱のシンボルは、バッテリーを一般廃棄物に入れてはならないことを示しています。

注意

誤ったタイプのバッテリーに交換すると爆発の危険があります。

指示に従って使用済みバッテリーを処分してください。

“VORSICHT”

Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers.

FCC 声明:

本装置は FCC 規定第 15 章によるクラス B デジタル装置の規制に準拠していることが試験により確認されています。これらの規制は、住宅に設置した状態で、有害な電波障害から適切に保護することを目的としています。本装置は、高周波エネルギーを発生、使用し、放射しうるため、指示通りに設置し使用しない場合は、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。ただし、特定の設置条件で電波障害が発生しないと保証するものではありません。本装置がラジオやテレビに有害な電波障害を引き起こしている場合、これは本装置の電源をオン/オフにすることで検証できますが、次の方法を一つ以上試みて、電波障害を解消することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える。
- 本装置と受信機を離す。
- 本装置を受信機とは別のコンセントに接続する。
- 販売店または熟練のラジオ/TV 技術者に問い合わせる。

本装置は FCC 規定第 15 章に準拠しています。操作は次の 2 つの条件を前提としています。(1) 本装置は有害な電波障害を引き起こす可能性があること。(2) 本装置は、誤動作を引き起こしうる干渉を含め、いかなる受信障害も許容しなければならないこと。

本クラス B デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

注意:

明示的に本装置の受領者が承認していない変更や改造により、機器を操作するユーザーの権限が無効になることがあります。

注意:

危険な可動部品が含まれていますので、指や身体部分を近づけないようにしてください。

目次

1. はじめに	1
1.1 製品紹介	1
1.2 製品機能	2
1.2.1 プリンタ標準機能	2
1.2.2 プリンタオプション機能	4
1.3 全般仕様	5
1.4 印刷仕様	5
1.5 リボン仕様	5
1.6 メディア仕様	6
2. 操作概要	7
2.1 開梱検査	7
2.2 プリンタ概要	8
2.2.1 正面図	8
2.2.2 内部図	9
2.2.3 背面図	10
2.3 オペレータコントロール	11
2.3.1 LED 表示およびキー	11
3. 設定	12
3.1 プリンタの設定	12
3.2 リボンの装着	13
3.3 メディアの取り付け	16
3.3.1 メディアの取り付け	16
3.3.2 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション)	19
3.3.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け	20
4. 診断ツール	22
4.1 診断ツールの開始	22
4.2 プリンタ機能	23
4.3 診断ツールによるイーサネットの設定	25
4.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	25

4.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する	26
4.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する	27
5. パワーオン・ユーティリティ	30
5.1 リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサー校正	31
5.2 ギャップ/ブラックマーク校正、セルフテスト、ダンプモード	32
5.3 プリンタの初期化	36
5.4 ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する	38
5.5 ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する	39
5.6 AUTO.BAS をスキップする	40
6. LCD メニュー機能	41
6.1 メニューに入る	41
6.2 メインメニュー概要	42
6.3 TSPL2	43
6.4 ZPL2	45
6.5 Sensor(センサー)	48
6.6 Interface(インターフェイス)	49
6.6.1 シリアル通信	49
6.6.2 イーサネット	50
6.6.3 Bluetooth	51
6.6.4 Wi-Fi	51
6.7 File Manager(ファイルマネージャー)	52
6.8 Diagnostics(診断)	53
6.8.1 Print Config.(印刷設定)	53
6.8.2 Dump Mode(ダンプモード)	55
6.8.3 Print Head(プリンタヘッド)	56
6.8.4 Display(ディスプレイ)	56
6.9 Advanced(詳細)	57
6.10 Service(サービス)	58
7. トラブルシューティング	59
8. メンテナンス	63
改訂履歴	64

1. はじめに

1.1 製品紹介

TSC バーコードプリンタをご購入いただき、誠にありがとうございます。

TX200 熱転写式デスクトップバーコードプリンタシリーズは、同一クラスの他のプリンタよりも多くの印刷用途に対応します。3 種類のモデルが利用可能です。4 インチ幅の TX200 シリーズは、大量の 4x6 配送ラベル、高解像度の製品マーキングやグラフィックソリューションから、エレクトロニクスのマーキング用途で使用される高解像度ラベルまで、すべてに対応することができます。

このプリンタは、1 インチコアの 300 メートルリボンサプライを使用し、時間とお金を節約します。TX200 シリーズは、ユーザーフレンドリーなロールの取り付けが簡単な中央に重心を置いたコラムシェル型デザインを採用しており、5 インチロールのメディアを容易に取り付けることができます。プリンタの構造は、市場における他の熱転写式メカニズムよりも強力かつ耐久性のある堅牢な二層設計を装備しています。この強力なモーターは、300 メートルのリボンを十分取り扱うことができます。

すべての TSC プリンタと同様に TX200 シリーズは、その他の TSC プリンタ言語と完全互換のある TSPL-EZ™ プリンタ制御言語を搭載しています。また、TPLE (Translation Printer Language Eltron®) および TPLZ (Translation Printer Language Zebra®) に対応しています。言語が、プリンタに送信されるように各ラベルのフォーマットを自動的に解読・変換します。また、TSPL-EZ™ は、通常は高額のプリンタにのみ適用されている Monotype® フォントエンジンを使用したスケーラブル True Type フォントも内蔵しています。

アプリケーション:

- ビジネス/オフィス
- 製品マーキング
- コンプライアンスラベリング
- 資産追跡
- ドキュメント管理
- 棚フラベリング
- 配送/受領
- 試料ラベリング
- 在庫管理
- 患者追跡

1.2 製品機能

1.2.1 プリンタ標準機能

プリンタには次の標準機能が搭載されています。

製品標準機能	200 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
熱転写式または感熱式	○	○	○
1ボタン付きLEDアイコンパネル	○	○	-
6ボタン付き3.5インチTFT LCD	-	-	○
32ビット RISCハイパフォーマンスプロセッサ	○	○	○
ギャップ透過式センサー(固定、中心が中央から右に4 mmまたは左に7 mmオフセット)	○	○	○
ブラックマーク反射式センサー(位置調整可能)	○	○	○
シースルーリボンエンドセンサー	-	-	○
リボンエンコーダセンサー <small>単一印刷の場合、ラベル長さは3 mm以上である必要があります。</small>	○	○	○
ヘッドオープンセンサー	○	○	○
128MB フラッシュメモリ	○	○	○
128 MB DDR2 DRAM	○	○	○
最大SDHC 32Gまでのメモリ拡張用のマイクロSDカードリーダー	○	○	○
RS-232 インターフェイス(最大115,200 bps)	○	○	○
USB 2.0 インターフェイス(フルスピードモード)	○	○	○
内蔵イーサネットプリンタサーバ(10/100Mbps)インターフェイス	-	-	○
USBホスト	○	○	○
リアルタイムクロックおよびブザー	-	-	○
Eltron [®] および Zebra [®] 言語サポートを含む業界規格エミュレーションはプリンタ開封後の即時使用が可能	○	○	○
内蔵英数ビットマップフォント 8 種	○	○	○
フォントおよびバーコードは、4 方向のいずれでも印刷が可能。(0, 90, 180, 270 度)	○	○	○
内蔵 Monotype Imaging [®] true type フォントエンジン、CG Triumvirate Bold Condensed スケーラブルフォント 1 種付属	○	○	○
PC からプリンタメモリへのフォントダウンロード可能	○	○	○
プリンタヘッド清掃警告	○	○	○

バーコード、グラフィックス/画像印刷											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>対応バーコード</th> <th>画像サポート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次元バーコード</td> <td rowspan="2">BITMAP、BMP、PCX (グラフィックス最大 256 色)</td> </tr> <tr> <td>2次元バーコード</td> </tr> <tr> <td>Code128 サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EAN および UPC 2(5) DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS</td> <td>CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QR コード、RSS バーコード(GS1 データバー)</td> </tr> </tbody> </table>		対応バーコード	画像サポート	1次元バーコード	BITMAP、BMP、PCX (グラフィックス最大 256 色)	2次元バーコード	Code128 サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EAN および UPC 2(5) DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS	CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QR コード、RSS バーコード(GS1 データバー)	○	○	○
対応バーコード	画像サポート										
1次元バーコード	BITMAP、BMP、PCX (グラフィックス最大 256 色)										
2次元バーコード											
Code128 サブセット A.B.C、Code 128 UCC、EAN 128、 Interleaved 2 of 5、 Code 39、Code 93、 EAN-13、EAN-8、 CODABAR、 POSTNET、UPC-A、 UPC-E、EAN および UPC 2(5) DIGITS、 MSI、PLESSEY、 China Post、ITF14、 EAN 14、Code 11、 TELPEN、PLANET、 Code 49、Deutsche Post Identcode、 Deutsche Post Leitcode、LOGMARS	CODABLOCK F モード、 DataMatrix、 Maxicode、PDF- 417、Aztec、 MicroPDF417、 QR コード、RSS バーコード(GS1 データバー)										
<p>サポートするコードページ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コードページ 437(英語 - 米国) ・ コードページ 737(ギリシャ語) ・ コードページ 850(ラテン 1) ・ コードページ 852(ラテン 2) ・ コードページ 855(キリル語) ・ コードページ 857(トルコ語) ・ コードページ 860(ポルトガル語) ・ コードページ 861(アイスランド語) ・ コードページ 862(ヘブライ語) ・ コードページ 863(フランス語(カナダ)) ・ コードページ 864(アラビア語) ・ コードページ 865(北部フランス語) ・ コードページ 866(ロシア語) ・ コードページ 869(ギリシャ語 2) ・ コードページ 950(繁体字中国語) ・ コードページ 936(簡体字中国語) ・ コードページ 932(日本語) ・ コードページ 949(韓国語) ・ コードページ 1250(ラテン 2) ・ コードページ 1251(キリル語) ・ コードページ 1252(ラテン 1) ・ コードページ 1253(ギリシャ語) ・ コードページ 1254(トルコ語) ・ コードページ 1255(ヘブライ語) ・ コードページ 1256(アラビア語) ・ コードページ 1257(バルト語派) ・ コードページ 1258(ベトナム語) 			○	○	○						

<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO-8859-1: ラテン 1(西ヨーロッパ) ・ ISO-8859-2: ラテン 2(中央ヨーロッパ) ・ ISO-8859-3: ラテン 3(南ヨーロッパ) ・ ISO-8859-4: ラテン 4(北ヨーロッパ) ・ ISO-8859-5: キリル語 ・ ISO-8859-6: アラビア語 ・ ISO-8859-7: ギリシャ語 ・ ISO-8859-8: ヘブライ語 ・ ISO-8859-9: トルコ語 ・ ISO-8859-10: 北部フランス語 ・ ISO-8859-15: ラテン 9 ・ UTF-8 			
---	--	--	--

1.2.2 プリンタオプション機能

プリンタには次のオプション機能が提供されています。

製品オプション機能	ユーザーオプション	販売店オプション	工場出荷オプション
ピールオフキット		○	
標準カッター(フルカットカッターモジュール) 用紙厚み:0.06~0.19 mm <i>注記:</i> ライナーレスカッターの場合を除き、すべての標準/高耐久性/ケアラベルカッターは、接着剤の付いたメディアを切断しません。		○	
ディスプレイつきキーボードユニット(KP-200 Plus)	○		
プログラム可能スマートキーボード(KU-007 Plus)	○		
Bluetoothモジュール(シリアルインターフェイス)	○		
802.11 b/g/n ワイヤレスモジュール(シリアルインターフェイス)	○		
パラレルポート			○
RFID			○
3.5インチカラーTFTディスプレイ			○
リアルタイムクロック			○
リボンエンドセンサー			○
			○

1.3 全般仕様

全般仕様	200 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
外形寸法	226 mm (幅) x 198 mm (高) x 332 mm (奥行)		226 mm (幅) x 200 mm (高) x 332 mm (奥行)
重量	3.70 kg (8.16 ポンド)		4.03 kg (8.89 ポンド)
メカニズム	二層プラスチックのクラムシェル		
付属電源アダプタ	外部電源アダプタ • 入力: AC100~240V/2.5A • 出力: DC 24V/3.75A		外部電源アダプタ • 入力: AC100~240V、2.5A • 出力: DC 24V/5.41A
環境条件	動作: 5 ~ 40°C (41 ~ 104°F)、25 ~ 85% 結露なし 保管: -40 ~ 40°C (-40 ~ 104°F)、10 ~ 90% 結露なし		
環境関連	RoHS指令、WEEEに準拠		

1.4 印刷仕様

印刷仕様	200 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
プリンタヘッド解像度 (ドット/インチ/ミリメートル あたり)	203ドット/インチ (8ドット/インチ)	300ドット/インチ (12ドット/インチ)	600ドット/インチ (24ドット/インチ)
印刷方式	熱転写式または感熱式		
ドットサイズ (幅x長さ)	0.125 x 0.125 mm (1 mm = 8ドット)	0.084 x 0.084 mm (1 mm = 12ドット)	0.042 x 0.042 mm (1 mm = 24ドット)
印刷速度 ([インチ/秒])	最大 8 IPS	最大 6 IPS	最大 4 IPS
	最大 3 IPS (ピーラーモードの場合)		
最大印刷幅	108 mm (4.25")	106 mm (4.17")	
最大印刷長	25,400 mm (1000")	11,430 mm (450")	2,540 mm (100")
印刷結果バイアス	垂直: 最大1 mm 水平: 最大1 mm		

1.5 リボン仕様

リボン仕様	
リボン外径	最大67 mm (OD)
リボン長	300メートル
リボンコア内径	25.4 mm (1 インチ) ID コア
リボン幅	40 mm ~ 115 mm
リボン巻きタイプ	インク面外巻き、インク面内巻き

1.6 メディア仕様

メディア仕様	200 dpi モデル	300 dpi モデル	600 dpi モデル
メディアロール容量	最大5インチ(OD)		
メディアコア直径	1インチおよび1.5インチ ID コア		
メディアタイプ	連続、ダイカット、ブラックマーク、外部ファンフォールド、ノッチ		
メディア巻きタイプ	外巻き/内巻き 内巻きメディアの場合、最大ラベル長さは6インチ(3インチペーパーコア付き)です。		
メディア幅	19 mm ~ 112 mm		
メディア厚み	0.055 mm ~ 0.254 mm		
ラベル長	3~25,400 mm (0.1" ~ 1,000")	3~11,430 mm (0.1" ~ 450")	3~25,400 mm (0.1" ~ 1,000")
ラベル長(ピーラーモード)	25.4 mm ~ 152.4 mm (1" ~ 6")		
ラベル長(カッターモード)	25.4~最大印刷長		
ブラックマーク	最小 8 mm(幅) x 2 mm(高)		
ギャップ高	最小2 mm		

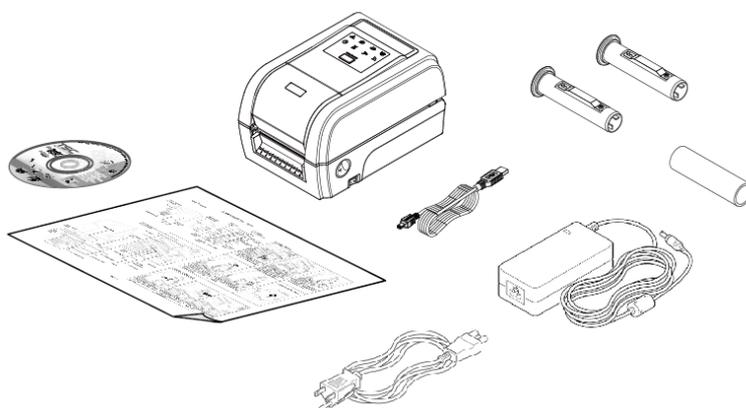
2. 操作概要

2.1 開梱検査

このプリンタは出荷中に損傷しないよう特別な梱包を行っています。バーコードプリンタを受け取ったら、すぐにパッケージとプリンタを注意深く点検してください。プリンタを返送する際に必要な場合があるので、梱包資材は保存しておいてください。

プリンタのカートンには、次の品目が含まれています。

- プリンタ装置 x1
- Windows ラベリングソフトウェア/Windows ドライバーCD ディスク x1
- クイックインストールガイド x1
- 電源コード x1
- 自動切り替え電源装置 x1
- USB インターフェイスケーブル x1
- リボンスピンドル x2
- ペーパーコア x1



部品が不足している場合は、購入された小売店または販売業者のカスタマーサービス部に連絡してください。

2.2 プリンタ概要

2.2.1 正面図



2.2.2 内部図



2.2.3 背面図



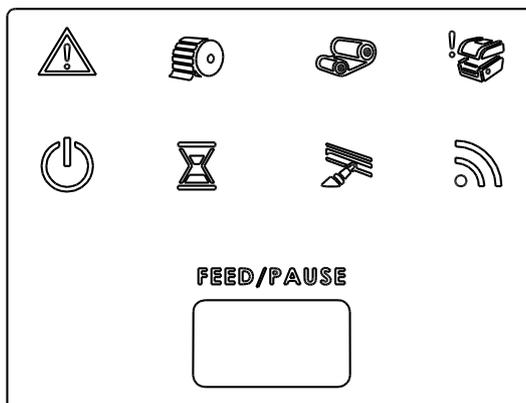
注記:

* 推奨 MicroSD カードの仕様。

SD カード仕様	SD カード容量	認定 SD カード製造元
V1.0、V1.1	MicroSD 128 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	MicroSD 256 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	MicroSD 512 MB	Transcend、Panasonic
V1.0、V1.1	MicroSD 1 GB	Transcend、Panasonic
V2.0 SDHC CLASS 6	MicroSD 4 GB	Transcend
- DOS FAT ファイルシステムは SD カードに対応しています。 - SD カードに格納されるフォルダ/ファイルは 8.3 ファイル名フォーマットでなければなりません。		

2.3 オペレータコントロール

2.3.1 LED 表示およびキー



LED	ステータス	表示
	オン	その他のエラーです
	オン	用紙切れです
	点滅中	紙詰まり
	オン	リボン切れです
	点滅中	リボンが間もなく切れます
	オン	プリンタヘッドが開いています

LED	ステータス	表示
	オン	プリンタ準備完了
	点滅中	一時停止
	オン	メモリ消去中です
	点滅中	ファイルダウンロード中です
	点滅中	プリンタヘッドの掃除が必要
	点滅中	RF 通信

(1) フィードラベル

プリンタの用意ができたなら、ボタンを押して1つのラベルを次のラベルの先頭に送り込みます。

(2) 印刷ジョブの一時停止

プリンタの印刷中にボタンを押すと、印刷ジョブが一時停止します。プリンタが一時停止すると電源 LED が緑に点滅します。ボタンを再び押すと、印刷ジョブが継続されます。

3. 設定

3.1 プリンタの設定

1. プリンタを平らで安全な表面に置きます。
2. 電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
3. 付属の USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
4. プリンタ背面の AC 電源コードソケットに電源コードを差し込み、正しく接地した電源コンセントに電源コードを差し込みます。

注記: プリンタ電源スイッチを OFF (オフ) にしてから、電源コードをプリンタの電源ジャックに差し込んでください。

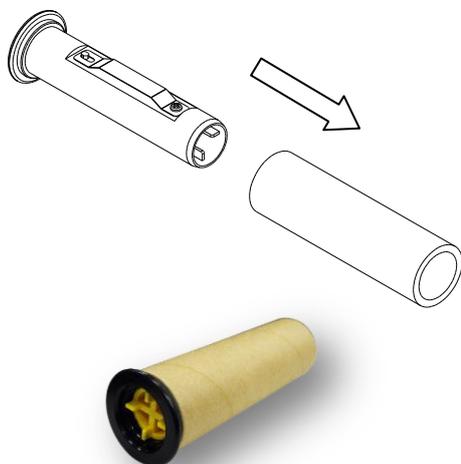
3.2 リボンの装着



1. プリンタの各サイドにある上部カバーのオープンレバーを引いて上部カバーを最大開放角まで上げることにより、プリンタの上部カバーを開きます。



2. リボンアクセスカバーとメディアカバーを開きます。



3. ペーパーコアに巻き戻しスピンドルを挿入します。

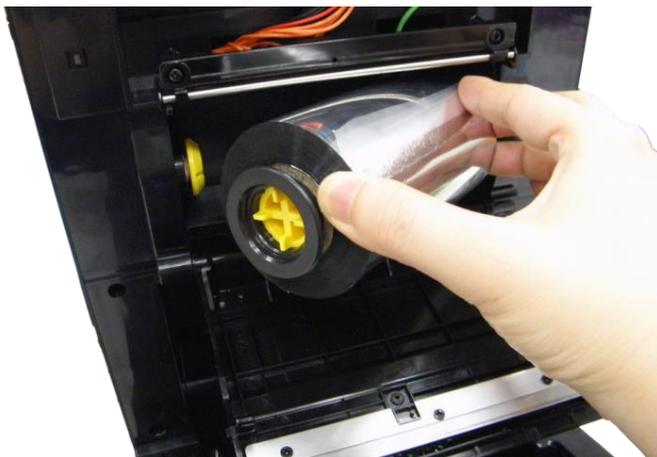
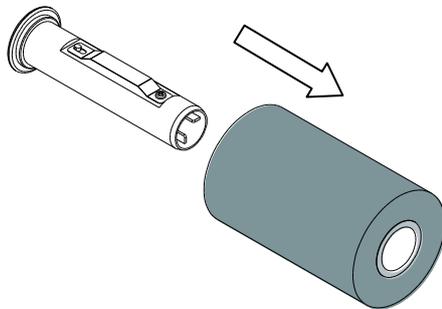


注記:
スピンドルの黄色の部分が左側になります。

4. まず、ペーパーコアの右側を巻き戻しハブに挿入し、次に、左側にある V 字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。



5. リボンコアにリボンサプライスピンドルを挿入します。



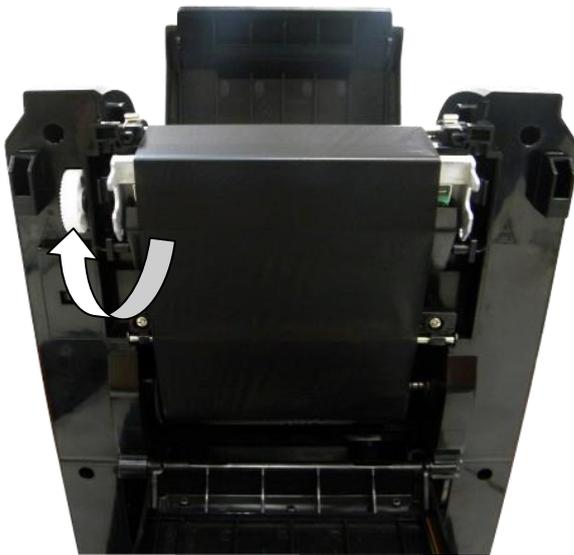
注記:
スピンドルの黄色の部分が左側になります。

6. まず、リボンの右側をサプレイハブに取り付け、次に、左側にある V 字形の切込みをそろえてスポークに取り付けます。





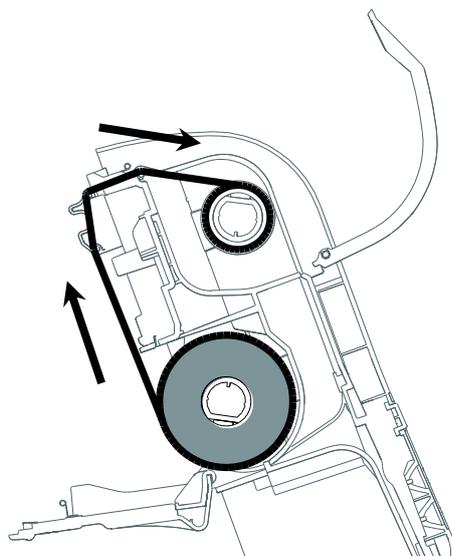
7. リボンをリボン巻き戻しペーパーコアに留めます。



8. リボンのプラスチック製リーダーが完全に巻かれるまで、リボン巻き戻しギアを回します。リボンアクセスカバーと上部カバーを閉じます。



リボンの取り付け経路

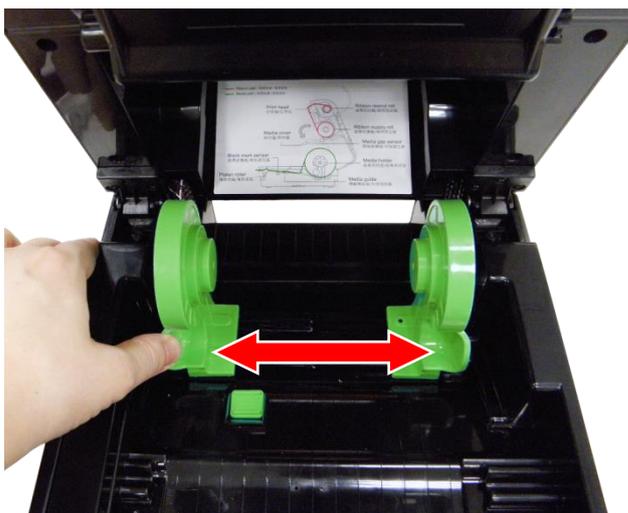


3.3 メディアの取り付け

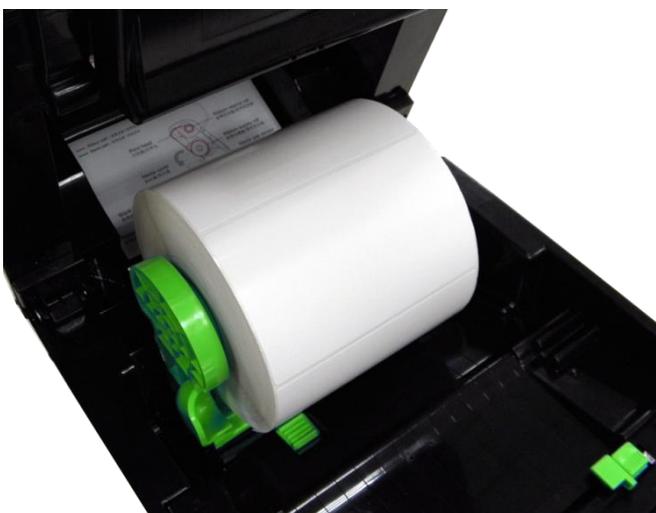
3.3.1 メディアの取り付け



1. 両サイドにあるタブをプリンタの正面側に引いてプリンタの上部カバーを開け、上部カバーを最大開放角まで持ち上げます。



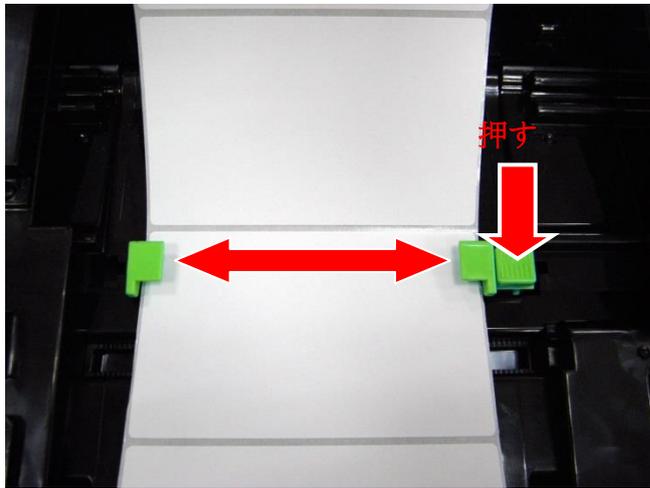
2. メディアホルダーを離して、開いた状態で保持します。



3. ロールをホルダーの間に配置し、コア上でそれを閉じます。



4. 印刷面を上に向けた状態でペーパーをメディアセンサーに通して置き、ラベルの先端をプラテンローラー上に配置します。



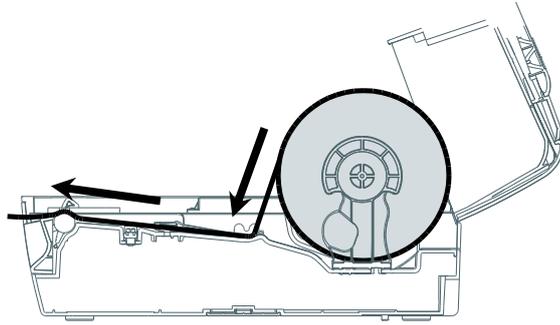
5. メディアガイドアジャスターボタンを押して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。



6. 上部カバーをゆっくり閉じます。
7. 「診断ツール」を使ってメディアセンサーの種類をセットし、選択したセンサーを校正します。（「Diagnostic tool(診断ツール)」→をスタートし、「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブ→を選択して、「Calibrate Sensor(センサーの校正)」ボタンをクリックします）。詳細については、診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

注記:
メディアを変更する時は、ギャップ/ブラックマークのセンサーを校正してください。

メディアの取り付け経路



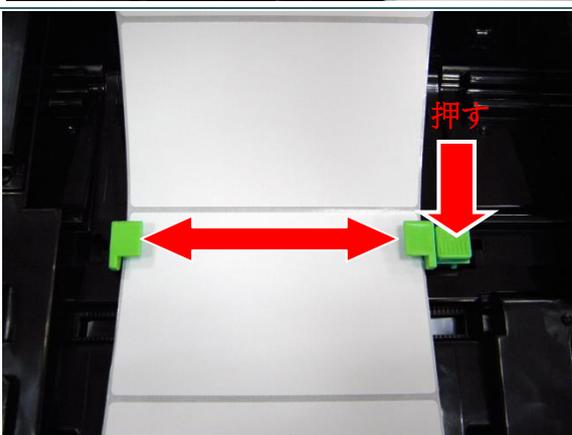
3.3.2 カッターモードでのメディアの取り付け(オプション)



1. セクション 3.3.1 を参照し、印刷面を上向けた状態で、ペーパーをペーパーガイドを通し、プラテン上に配置します。



2. ペーパーをカッターペーパー開口部を通して送ります。



3. メディアガイドアジャスターボタンを押して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。



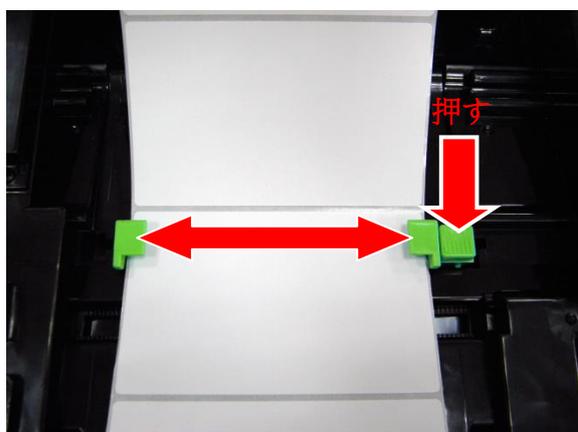
4. 上部カバーをゆっくり閉じます。
5. 「Diagnostic Tool (診断ツール)」を使って、メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーを校正し、印刷後動作を「CUTTER」に設定します。



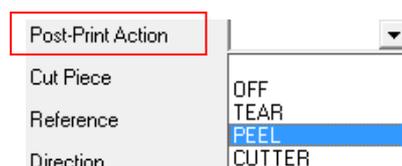
3.3.3 ピールオフモード(オプション)でのメディアの取り付け



1. セクション 3.3.1 を参照し、印刷面を上に向けた状態で、ペーパーをペーパーガイドを通し、プラテン上に配置します。



2. メディアガイドアジャスターボタンを押して、ラベル幅がフィットするようにメディアガイドを動かします。
 3. 上部カバーをゆっくり閉じます。「Diagnostic Tool (診断ツール)」を使って、メディアセンサーの種類を設定し、選択したセンサーを校正し、印刷後動作を「PEEL」に設定します。



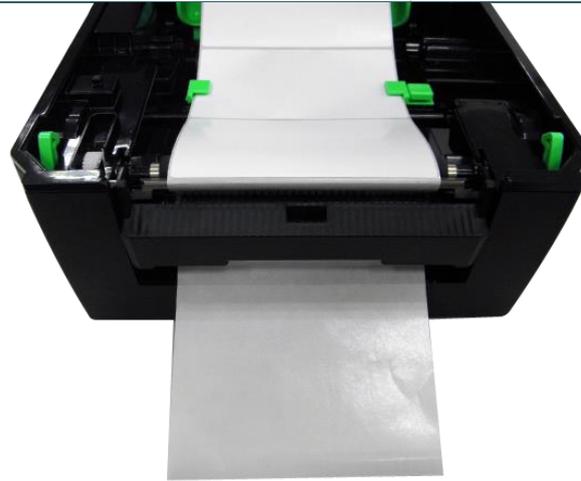
注記:
 紙詰まりを避けるためにピールオフモジュールにメディアを取り付ける前にセンサーを校正してください。



4. 上部カバーをゆっくり開きます。プリンタ正面からラベルを引き出し、ラベルをいくつか剥がしてライナーのみを残します。



5. ピールオフカバーを開きます。ライナーをピールオフカバーのスロットにフィードします。



6. ピールオフカバーおよびプリンタカバーを閉じます。プリンタのピールオフモードの準備が完了します。



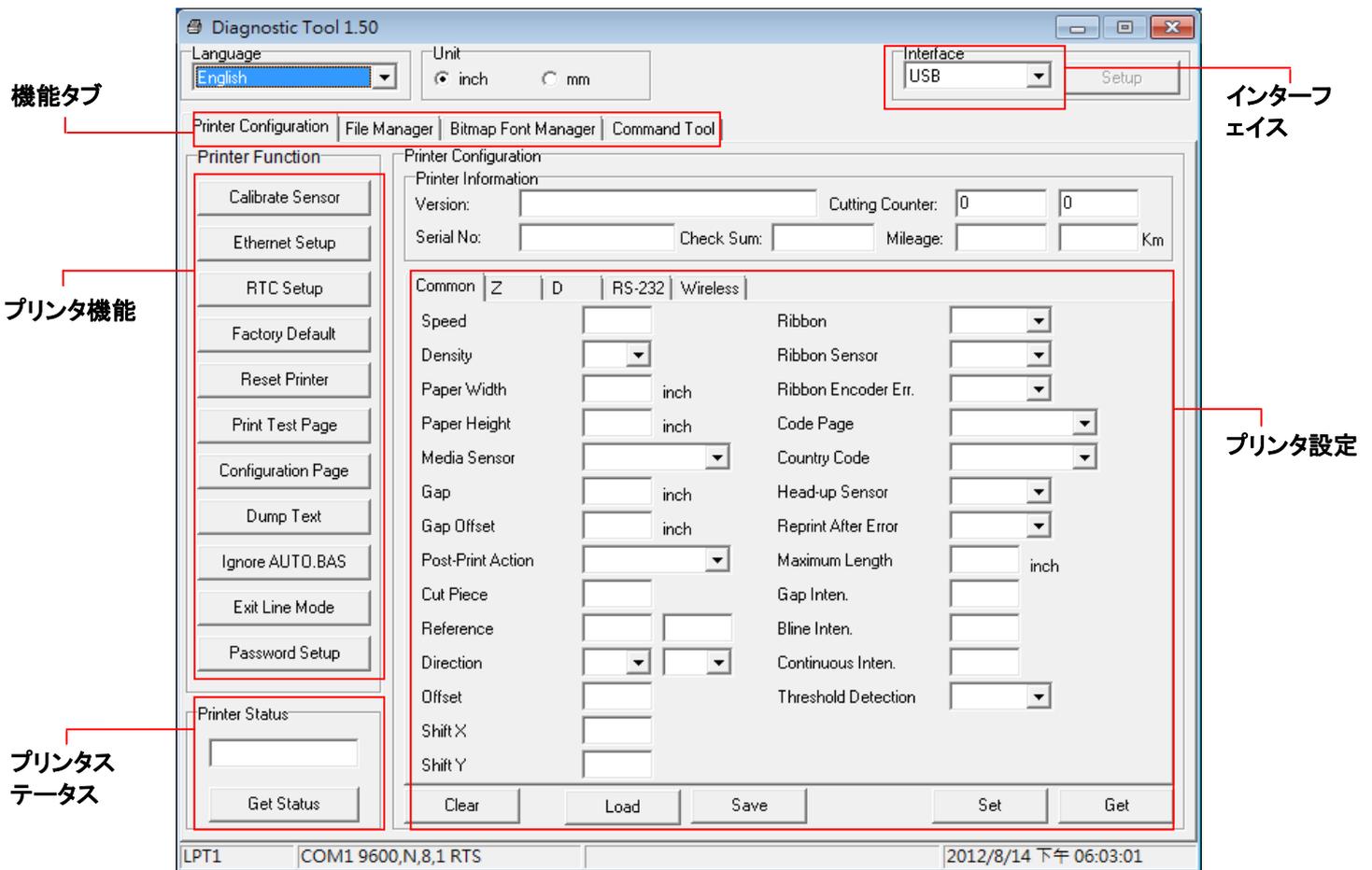
7. テスト用にラベルを印刷します。

4. 診断ツール

TSC の診断ユーティリティは、ユーザーがプリンタの設定や状態の検索、プリンタ設定の変更、グラフィックやフォント、ファームウェアのダウンロード、プリンタのビットマップフォントの作成、追加のコマンドのプリンタへの送信などを実行できる機能をまとめた統合ツールです。この強力なツールにより、ユーザーはプリンタのステータスや設定を瞬時に確認できるため、問題点のトラブルシューティングが容易になります。

4.1 診断ツールの開始

1. 診断ツールアイコン   をダブルクリックすると、ソフトウェアが起動します。
2. 診断ユーティリティには 4 つの機能 (Printer Donfiguration (プリンタ構成)、File Manager (ファイルマネージャー)、Bitmap Font Manager (ビットマップフォントマネージャー)、Command Tool (コマンドツール)) が含まれます。



4.2 プリンタ機能

1. ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. バーコードプリンタに接続された PC インターフェイスを選択します。

USB ケーブル	その他のケーブル
<p>Interface USB Setup</p> <p>デフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。</p>	<p>Interface COM Setup 2</p> <p>USB 1</p> <p>LPT</p> <p>ETHERNET</p>

3. 「Printer Function (プリンタ機能)」ボタンをクリックして設定します。
4. プリンタ機能グループの詳細機能は以下のとおりです。

	機能	説明
	Calibrate Sensor (センサー校正)	Printer Setup(プリンタ設定)グループメディアセンサー欄に指定されたセンサーを校正します
	Ethernet Setup (イーサネット設定)	IP アドレス、サブネットマスク、オンボードのイーサネット用ゲートウェイを設定します
	RTC Setup (RTC 設定)	プリンタのリアルタイムクロックと PC を同期します
	Factory Default (工場出荷時デフォルト)	プリンタを初期化し、設定を工場出荷時のデフォルト値に復元します。
	Reset Printer (プリンタリセット)	プリンタを再起動します
	Print Test Page (テストページ印刷)	テストページを印刷します
	Configuration Page (構成ページ)	プリンタ構成を印刷します
	Dump Text (テキストダンプ)	プリンタダンプモードを起動します。
	Ignore AUTO.BAS (AUTO.BAS の無視)	ダウンロードされた AUTO.BAS プログラムを無視します
	Exit Line Mode (ラインモード終了)	ラインモードを終了します。
	Password Setup (パスワード設定)	設定を保護するためにパスワードを設定します

診断ツールについての詳細は、CD ディスクユーティリティディレクトリの診断ユーティリティクイックスタートガイドを参照してください。

4.3 診断ツールによるイーサネットの設定

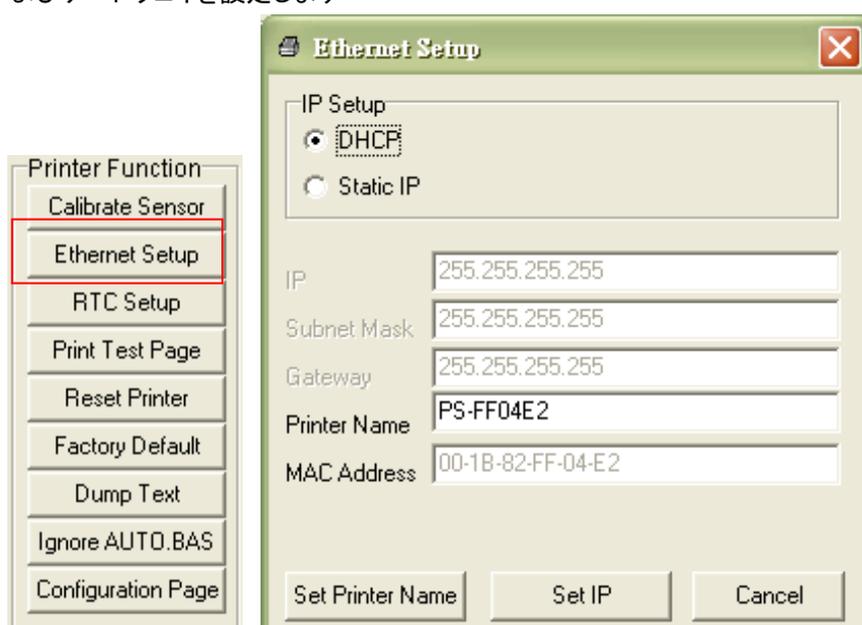
診断ユーティリティは CD ディスクのユーティリティ ディレクトリに含まれています。診断ツールを使って、RS-232、USB とイーサネットインターフェイスによりイーサネットを設定することができます。以下は、これら 3 種類のインターフェイスによるイーサネットの構成方法の説明です。

4.3.1 USB インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. USB ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源スイッチを入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. Diagnostic Utility (診断ユーティリティ) のデフォルトインターフェイス設定は USB インターフェイスです。USB インターフェイスがプリンタに接続されている場合、他の設定をインターフェイスフィールドで変更する必要はありません。

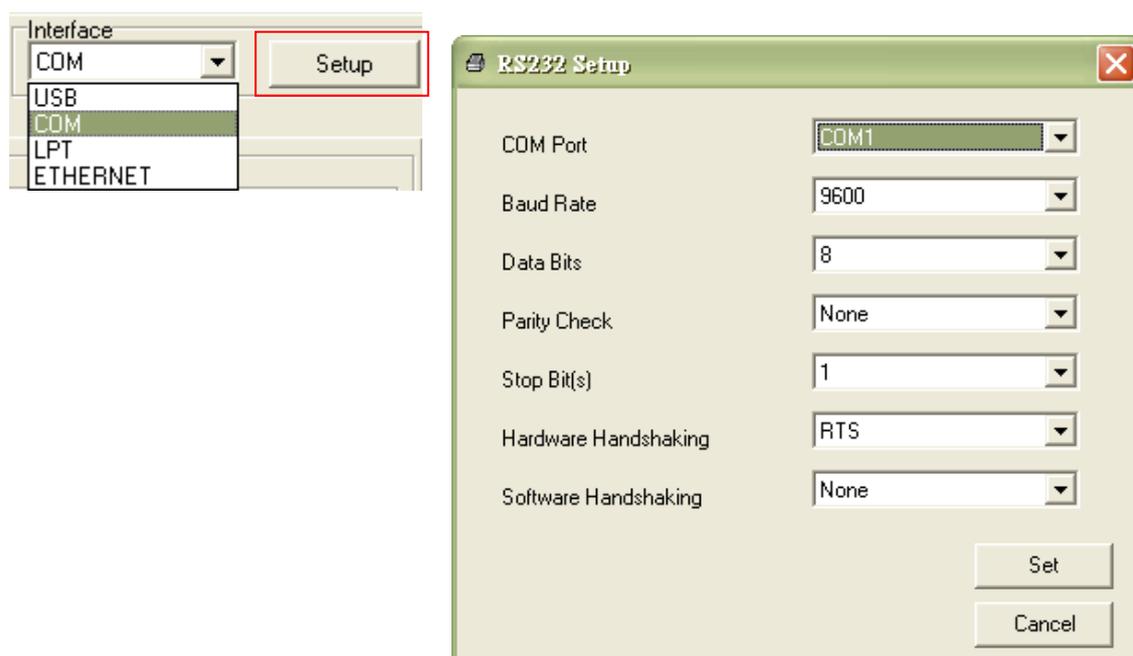


5. 「Printer Configuration (プリンタ構成)」タブの「Printer Function (プリンタ機能)」グループから Ethernet Setup (イーサネット設定) ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します



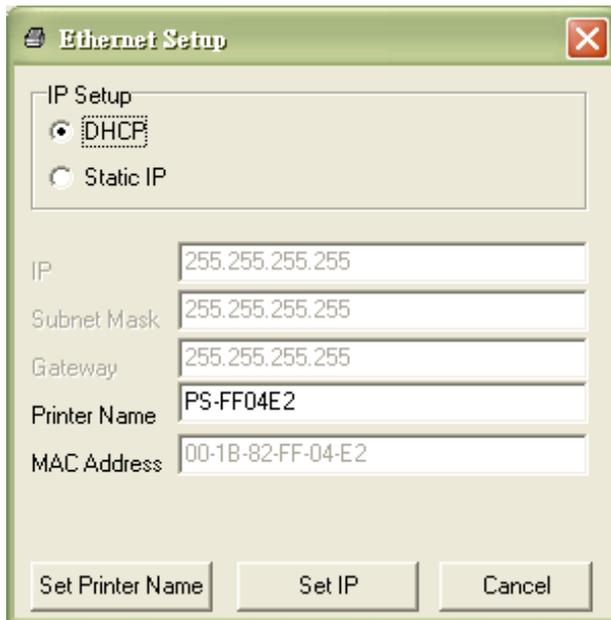
4.3.2 RS-232 インターフェイスを使用してイーサネットインターフェイスを設定する

1. RS-232 ケーブルでプリンタをコンピュータに接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  `DiagTool.exe` アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. 「COM」をインターフェイスとして選択し、「Setup(設定)」ボタンをクリックしてシリアルポートボーレート、パリティチェック、データビット、ストップビット、フロー制御パラメータを設定します。



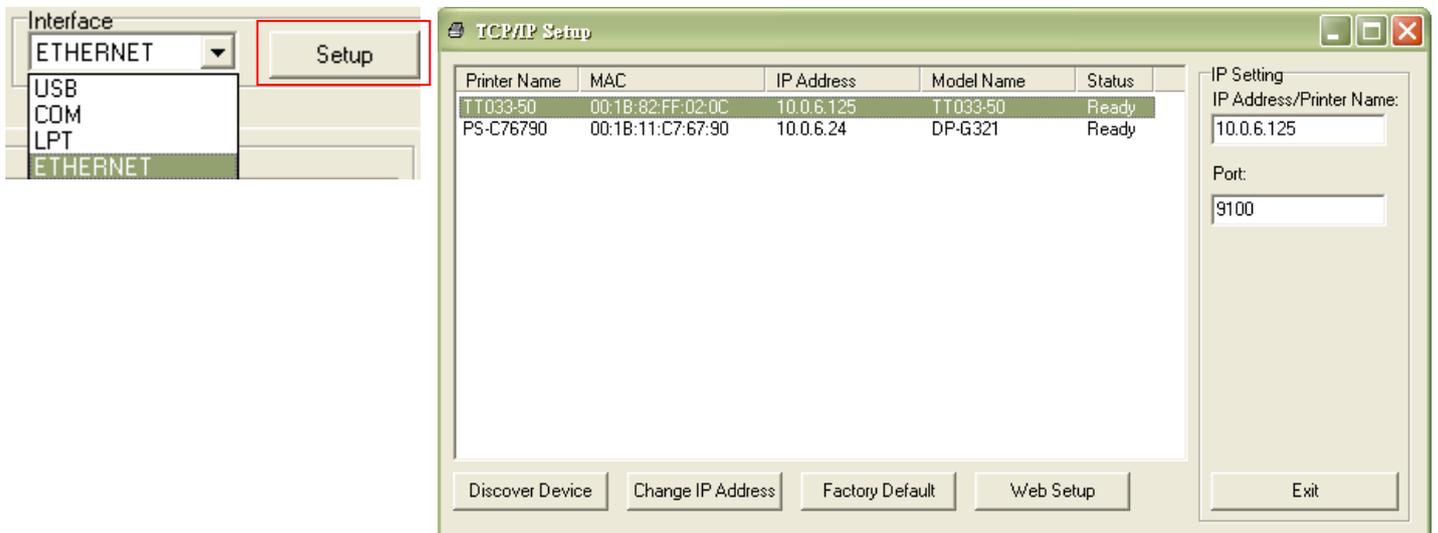
5. 「Printer Configuration(プリンタ構成)」タブの「Printer Function(プリンタ機能)」グループから「Ethernet Setup(イーサネット設定)」ボタンをクリックして、オンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



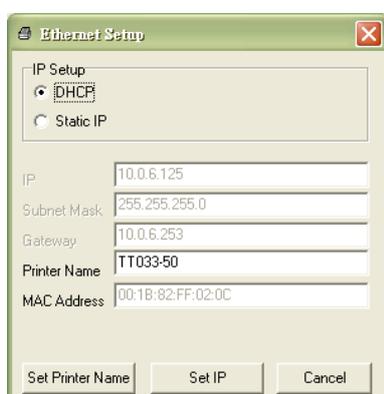


4.3.3 イーサネットインターフェイスを使ってイーサネットインターフェイスを設定する

1. コンピュータとプリンタを LAN に接続します。
2. プリンタの電源を入れます。
3.  **DiagTool.exe** アイコンをダブルクリックして診断ユーティリティを起動します。
4. 「Ethernet (イーサネット)」をインターフェイスとして選択し、「Setup (設定)」ボタンをクリックしてオンボードイーサネットの IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定します。



5. 「Discover Device (装置の発見)」ボタンをクリックして、ネットワーク上に存在するプリンタを検索します。
6. リストされたプリンタの左側にあるプリンタを選択します。対応する IP アドレスが右側の IP address/Printer Name (IP アドレス/プリンタ名) フィールドに表示されます。
7. 「Change IP Address (IP アドレスの変更)」をクリックし、DHCP またはスタティックによって得られた IP アドレスを構成します。



デフォルトの IP アドレスは DHCP によって得られます。設定をスタティックIPアドレスに変更するには、「Static IP (スタティック IP)」のラジオボタンをクリックしてから IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを入力します。「Set IP (IP を設定)」をクリックして設定を有効にします。

また、このフィールドに別のモデル名を入力して「Printer Name (プリンタ名)」を変更してから「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」をクリックして、この変更を有効にすることもできます。

注記:「Set Printer Name (プリンタ名を設定)」または「Set IP (IP を設定)」ボタンをクリックするとプリンタがリセットされ、設定が有効になります。

8. 「Exit (終了)」ボタンをクリックしてイーサネットインターフェイス設定を終了し、Diagnostic Tool (診断ツール) メイン画面に戻ります。

工場出荷時のデフォルトボタン

この機能は DHCP により得た IP、サブネットマスク、ゲートウェイのパラメータをリセットし、プリンタ名をリセットします。

ウェブ設定ボタン

プリンタの設定で Diagnostic Utility(診断ユーティリティ)を使用する場合を除き、プリンタ設定およびステータスを検索/構成したり、または IE や Firefox Web ブラウザでファームウェアを更新することができます。この機能は分かりやすい設定インターフェイスを提供し、ネットワーク上でプリンタをリモート管理します。

5. パワーオン・ユーティリティ

プリンタハードウェアを設定しテストするための6つのパワーオン・ユーティリティがあります。これらのユーティリティは、FEED(フィード)ボタンを押してから、プリンタの電源を入れると同時に、違うステータスのLEDでボタンを同時に放すことで起動します。

各種のパワーオン・ユーティリティについては以下のステップに従ってください。

1. プリンタ電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。
3. LEDが異なる機能を異なるステータスを表示したら、ボタンを放します。

パワーオン ユーティリティ	LED は次のように変化します。					
LED カラーおよびステータス	赤	赤	赤	赤	緑	緑
機能	 (点滅 5 回)	 (点滅 5 回)	 (点滅 5 回)	 (点滅 5 回)	 (点滅 5 回)	 (点灯)
1. リボンセンサー校正およびギャップ/ブラックマークセンサー校正	リリース					
2. ギャップ/ブラックマークセンサー校正、セルフテスト、およびダンプモードに入る		リリース				
3. プリンタの初期化			リリース			
4. ブラックマークセンサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する				リリース		
5. ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する					リリース	
6. AUTO.BAS をスキップする						リリース

5.1 リボンおよびギャップ/ブラックマークセンサー校正

ギャップ/ブラックマーク センサー感度は以下の条件で校正される必要があります：

1. 新品のプリンタ
2. ラベルストックを変更します。
3. プリンタの初期化

以下のステップにしたがってリボンおよびギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が  赤で点滅し始めたらボタンを放します。

- これにより、リボンセンサーおよびギャップ/ブラックマーク センサー感度が校正されます。
- LED は次の順序で変化します：



注記：

センサーを校正する前に、GAP あるいは BLINE コマンドをプリンタに送信し、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

5.2 ギャップ/ブラックマーク校正、セルフテスト、ダンプモード

ギャップ/ブラックマークセンサーを校正しながら、プリンタはラベル長を測定し、内部構成(セルフテスト)をラベルに印刷し、そしてダンプモードに入ります。ギャップまたはブラックマークセンサーの校正は、最後の印刷ジョブでのセンサー設定に依存します。

以下のステップにしたがってセンサーを校正してください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が  赤で点滅し始めたらボタンを放します。

■ LED は次の順序で変化します。



4. センサーが校正され、ラベル長が測定され、内部設定が印刷されると、ダンプモードに入ります。

注記:

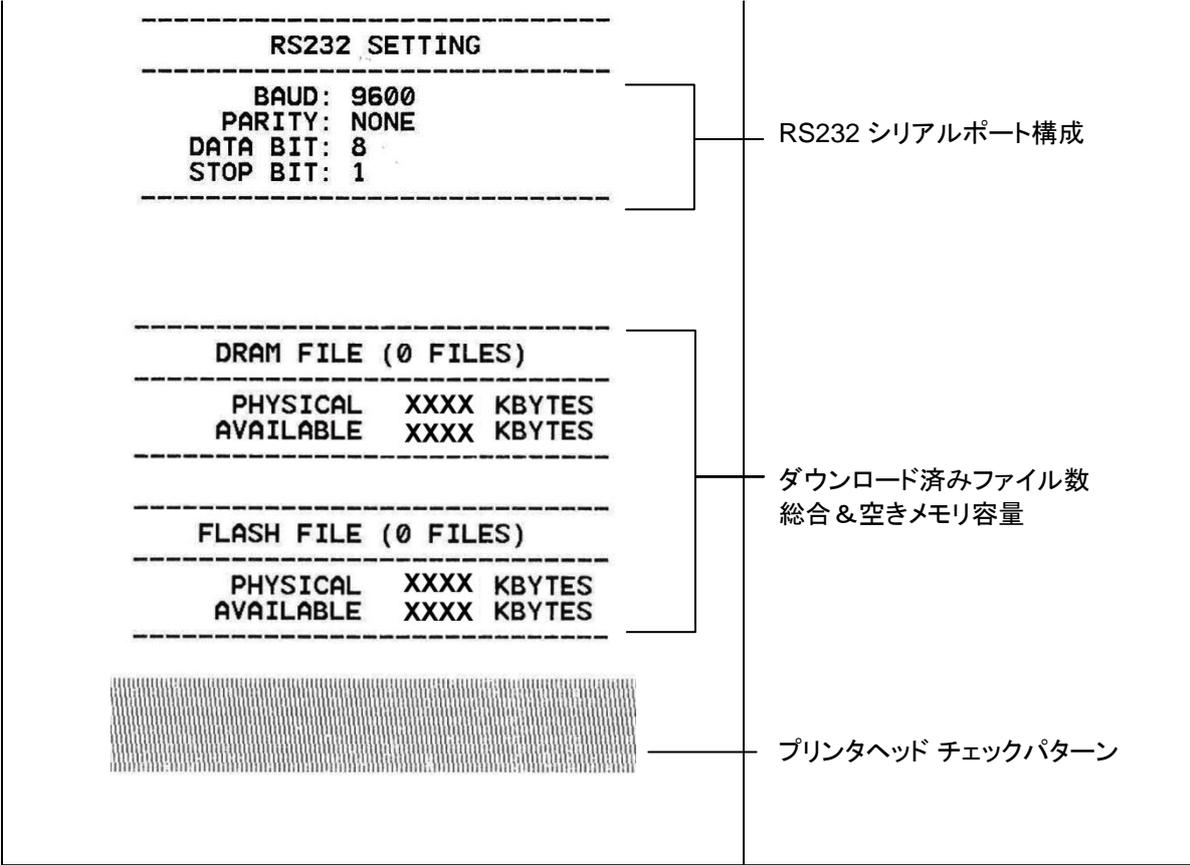
センサーを校正する前に、Diagnostic Tool(診断ツール)または、GAP あるいは BLINE コマンドにより、ギャップまたはブラックマークセンサーを選択してください。

GAP および BLINE コマンドについての詳細は、TSPL2 プログラミング説明書を参照してください。

■ セルフテスト

プリンタはギャップ/ブラックマークセンサー校正の後、プリンタ構成を印刷します。セルフテストのプリントアウトは、発熱素子、プリンタ構成、空きメモリ空間になんらかのドット損傷がないか点検するのに使用できます。

セルフテスト印刷	
----- SYSTEM INFORMATION -----	
MODEL: XXXXXX	モデル名
FIRMWARE: X.XX	ファームウェアバージョン
CHECKSUM: XXXXXXXX	ファームウェアチェックサム
S/N: XXXXXXXXXXXX	プリンタシリアル番号
TCF: NO	校正ファイル
DATE: 1970/01/01	システム日付
TIME: 00:04:18	システム時刻
NON-RESET: 110 m (TPH)	印刷されたマイルージ(メートル)
RESET: 110 m (TPH)	カット回数
NON-RESET: 0 (CUT)	
RESET: 0 (CUT)	
----- PRINTING SETTING -----	
SPEED: 5 IPS	印刷速度(インチ/秒)
DENSITY: 8.0	印刷濃度
WIDTH: 4.00 INCH	ラベルサイズ(インチ)
HEIGHT: 4.00 INCH	ギャップ距離(インチ)
GAP: 0.00 INCH	ギャップ/ブラックマーク センサー強度
INTENSION: 5	Code page(コードページ)
CODEPAGE: 850	国コード
COUNTRY: 001	
----- Z SETTING -----	
DARKNESS: 16.0	ZPL 設定情報
SPEED: 4 IPS	印刷濃度
WIDTH: 4.00 INCH	印刷速度(インチ/秒)
TILDE: 7EH (~)	ラベルサイズ
CARET: 5EH (^)	コントロールプレフィックス
DELIMITER: 2CH (,)	フォーマットプレフィックス
POWER UP: NO MOTION	区切り文字プレフィックス
HEAD CLOSE: NO MOTION	プリンタ電源オン動作
	プリンタヘッドクローズ動作
<p>注記: ZPL は、Zebra®言語をエミュレートします。</p>	



■ ダンプモード

プリンタはプリンタ構成の印刷後にダンプモードに入ります。ダンプモードでは、すべての文字が次のように 2 列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する 16 進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。

ASCII データ →	<pre> SPEED 2.0 53 50 45 45 44 20 32 2E 30 0D DENSITY 8 0A 44 45 4E 53 49 54 59 20 38 SET PEEL 0D 0A 53 45 54 20 50 45 45 4C OFF DIRE 20 4F 46 46 0D 0A 44 49 52 45 CTION 0 G 43 54 49 4F 4E 20 30 0D 0A 47 AP 3.00 mm 41 50 20 33 2E 30 30 20 6D 6D .0.00 mm 2C 30 2E 30 30 20 6D 6D 0D 0A REFERENCE 52 45 46 45 52 45 4E 43 45 20 0.0 SET C 30 2C 30 0D 0A 53 45 54 20 43 UTTER OFF 55 54 54 45 52 20 4F 46 46 0D SIZE 100. 0A 53 49 5A 45 20 31 30 30 2E 02 mm.65.0 30 32 20 6D 6D 2C 36 35 2E 30 4 mm.CLS 34 20 6D 6D 0D 0A 43 4C 53 0D BARCODE 1 0A 42 41 52 43 4F 44 45 20 31 44.149.39 34 34 2C 31 34 39 2C 22 33 39 .120.1.0. 22 2C 31 32 30 2C 31 2C 30 2C 2.6.57114 32 2C 36 2C 22 35 37 31 31 34 3BT* PRIN 33 38 54 22 0D 0A 50 52 49 4E T 1.1 SPE 54 20 31 2C 31 0D 0A 53 50 45 ED 2.0 DE 45 44 20 32 2E 30 0D 0A 44 45 NSITY 8 S 4E 53 49 54 59 20 38 0D 0A 53 ET PEEL OF 45 54 20 50 45 45 4C 20 4F 46 F DIRECTI 46 0D 0A 44 49 52 45 43 54 49 ON 0 GAP 4F 4E 20 30 0D 0A 47 41 50 20 3.00 mm.0. 33 2E 30 30 20 6D 6D 2C 30 2E 00 mm REF 30 30 20 6D 6D 0D 0A 52 45 46 ERENCE 0.0 45 52 45 4E 43 45 20 30 2C 30 SET CUTT 0D 0A 53 45 54 20 43 55 54 54 ER OFF SI 45 52 20 4F 46 46 0D 0A 53 49 ZE 100.02 5A 45 20 31 30 30 2E 30 32 20 mm.65.04 m 6D 6D 2C 36 35 2E 30 34 20 6D m.CLS BA 6D 0D 0A 43 4C 53 0D 0A 42 41 RCODE 144. 52 43 4F 44 45 20 31 34 34 2C 149.39.1 31 34 39 2C 22 33 39 22 2C 31 20.1.0.2.6 32 30 2C 31 2C 30 2C 32 2C 36 .571143BT 2C 22 35 37 31 31 34 33 38 54 .1 PRINT 1 22 0D 0A 50 52 49 4E 54 20 31 .1 2C 31 0D 0A </pre>	← ASCII データの左側列に関連する 16 進法データ
-------------	---	----------------------------------

注記:

1. ダンプモードには幅 4 インチの用紙幅が必要です。
2.  および  LED は、ダンプモード時に点灯します。
3. 通常印刷でプリンタを再開するには、電源をオフ/オンにします。

5.3 プリンタの初期化

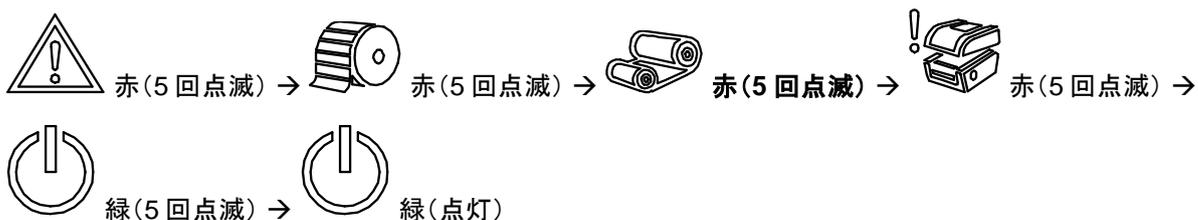
プリンタの初期化は、DRAM をクリアしてプリンタ設定をデフォルトに戻すのに使用されます。唯一の例外はリボン感度で、これはデフォルトに復元されることはありません。

プリンタの初期化は次の手順で有効になります。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が  赤になり、5 回点滅したら、ボタンを放します。

- LED は次のように変化します：



プリンタ構成は、初期化の後、以下のようにデフォルトに戻ります。

パラメータ	デフォルト設定
Speed (速度)	101.6 mm/秒(4 ips) (203DPI) 76 mm/秒(3 ips) (300DPI)
Density (濃度)	8
Label Width (ラベル幅)	101.5 mm(4")
Label Height (ラベル高)	101.5 mm(4")
Sensor Type (センサーの種類)	ギャップセンサー
Gap Setting	3.0 mm(0.12")

(ギャップ設定)	
Print Direction (印刷方向)	0
Reference Point (基準点)	0,0(左上隅)
Offset (オフセット)	0
Tear Mode (テアモード)	オン
Peel off Mode (ピールオフモード)	オフ
Cutter Mode (カッターモード)	オフ
Serial Port Settings (シリアルポート設定)	9600 bps、パリティなし、8 データビット、1 ストップビット
Code Page (コードページ)	850
Country Code (国コード)	001
Clear Flash Memory (フラッシュメモリを消去)	いいえ
IP Address (IP アドレス)	DHCP

5.4 ブラックマーク センサーをメディアセンサーとして設定し、ブラックマークセンサーを校正する

以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が  赤になり、5 回点滅したら、ボタンを放します。

■ LED は次のように変化します：



5.5 ギャップセンサーをメディアセンサーとして設定し、ギャップセンサーを校正する

以下の手順に従ってください。

1. 電源スイッチを切ります。
2. ボタンを押し続けて電源スイッチをオンにします。

3. LED が  緑になり、5 回点滅したら、ボタンを放します。

- LED は次のように変化します：



5.6 AUTO.BAS をスキップする

TSPL2 プログラミング言語では、自動実行ファイルをフラッシュメモリにダウンロードすることができます。プリンタの電源が入ると、直ちにプリンタは AUTO.BAS プログラムを実行します。パワーオン・ユーティリティでプログラムを実行せずに、AUTO.BAS プログラムを中断することができます。

AUTO.BAS プログラムをスキップするには、以下の手順に従ってください。

1. プリンタの電源を切ります。
2. FEED(フィード)ボタンを押してから、電源を入れてください。

3. LED が  緑色に点灯したら、FEED(フィード)ボタンを放します。

- LED は次のように変化します：



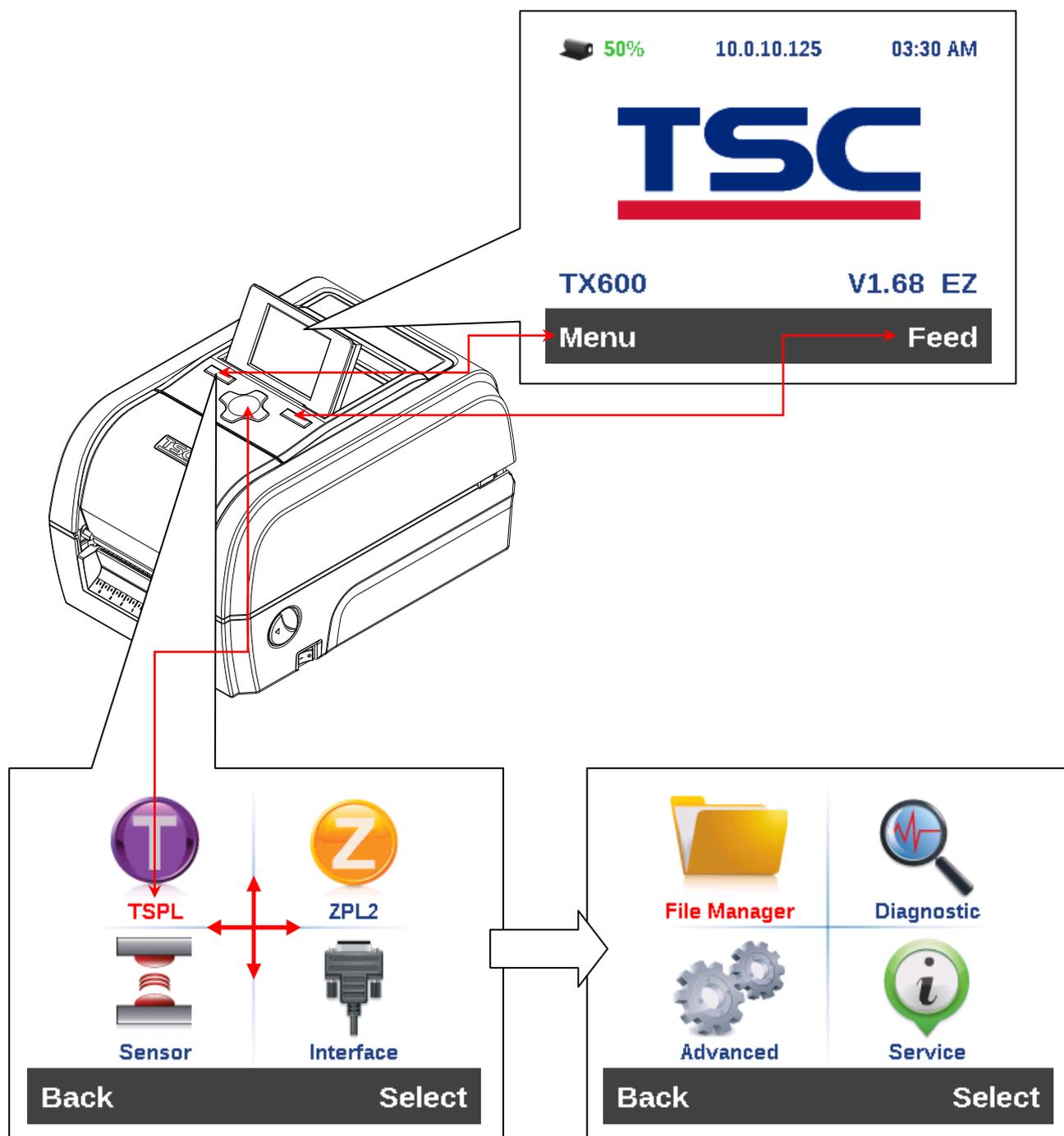
4. プリンタは AUTO.BAS プログラムを実行するために中断されます。

6. LCD メニュー機能

6.1 メニューに入る

「Menu(メニュー)」ボタンを押してメインメニューに入ります。「Cross(クロス)」ボタンを使って、メインメニュー上のアイテムを選択します。選択されたアイテムが赤になります。「Feed(フィード)」ボタンを押して、設定リストに入ります。

注記:この LCD 機能は、TX200 および TX300 シリーズの場合はオプションです。



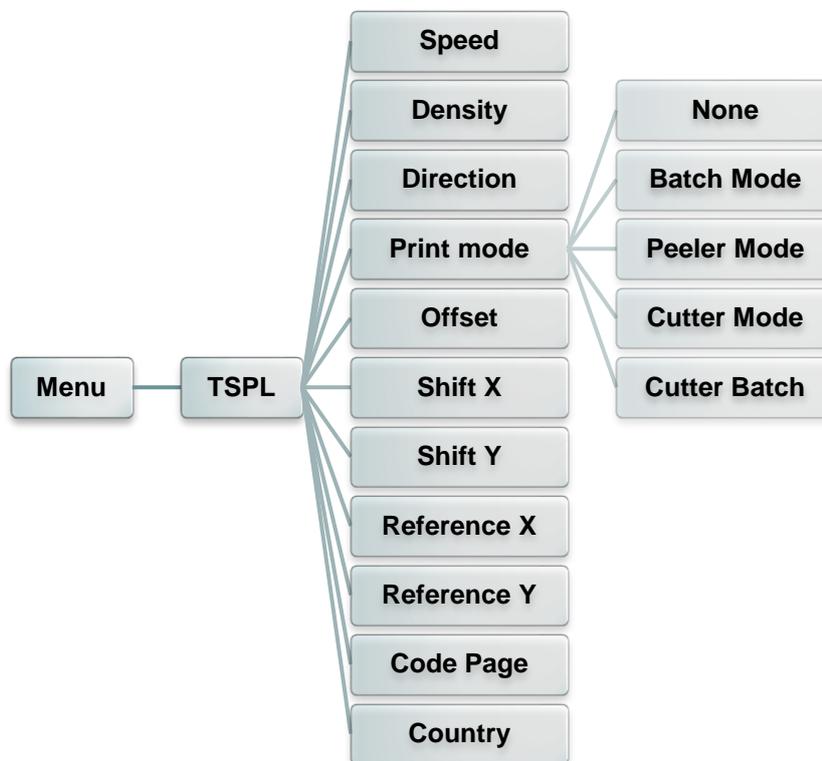
6.2 メインメニュー概要

メインメニューには、8つのカテゴリがあります。コンピュータを接続せずに、簡単にプリンタの設定を行うことができます。詳細については、以下のセクションを参照してください。



6.3 TSPL2

この「TSPL2」カテゴリでは、TSPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



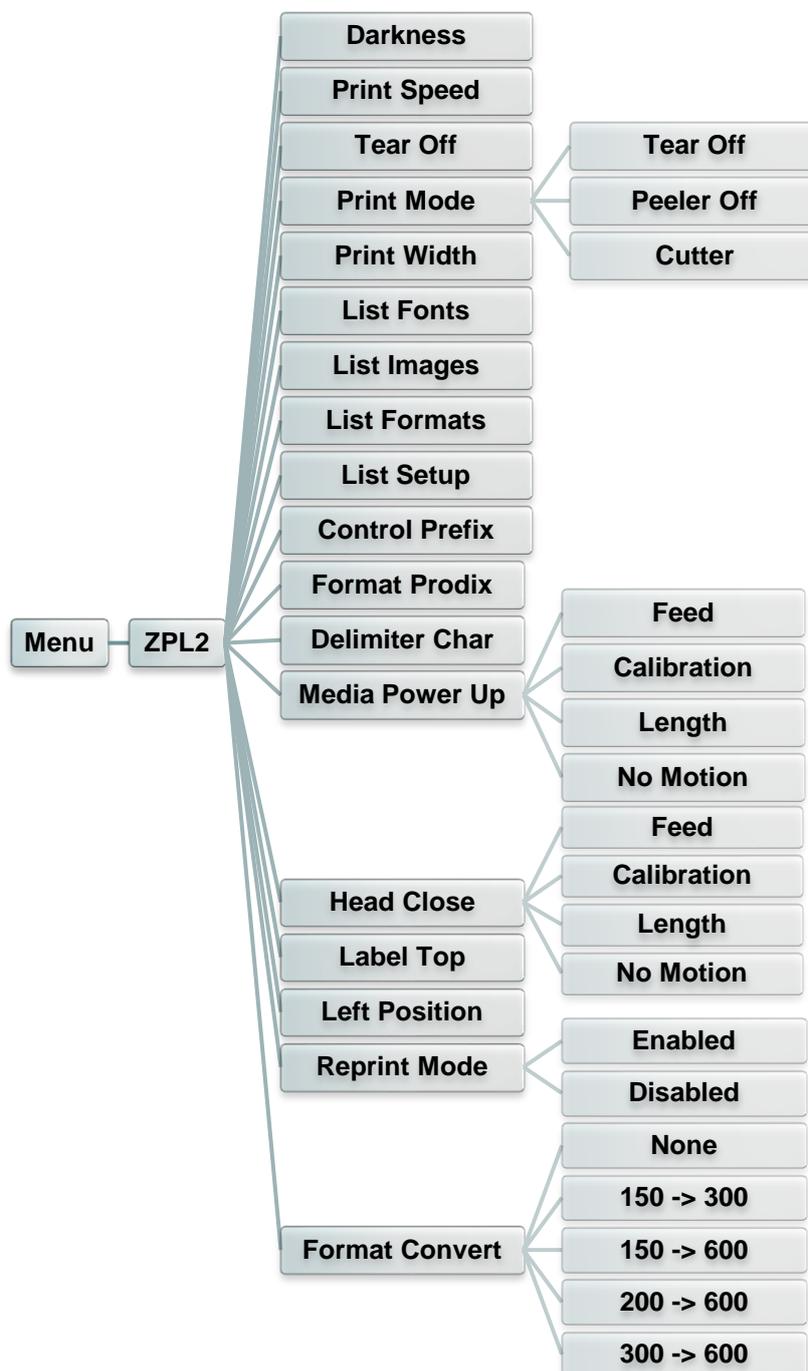
アイテム	説明	デフォルト				
Speed (速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。	なし				
Density (濃度)	このオプションを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～15です、各ステップは1ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	8				
Direction (方向)	<p>方向設定値は、1あるいは0となります。このアイテムを使用して、排紙方向を設定します。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>DIRECTION(方向) 0</th> <th>DIRECTION(方向) 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">Direction</td> <td style="text-align: center;">Direction</td> </tr> </tbody> </table>	DIRECTION(方向) 0	DIRECTION(方向) 1	Direction	Direction	0
DIRECTION(方向) 0	DIRECTION(方向) 1					
Direction	Direction					
Print mode (印刷モード)	<p>このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の5つのモードがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>プリンタモード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>None (なし)</td> <td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けライ</td> </tr> </tbody> </table>	プリンタモード	説明	None (なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けライ	Batch Mode (バッチモード)
プリンタモード	説明					
None (なし)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けライ					

		ンの位置に並べられます。(テアオフモード)	
	Batch Mode (バッチモード)	画像が完全に印刷されると、ラベルギャップ/ブラックマークがテアプレートの位置にフィードされて、テアアウェイが行われます。	
	Peeler Mode (ピーラーモード)	ラベルピールオフモードを有効化します。	
	Cutter Mode (カッターモード)	ラベルカッターモードを有効化します。	
	Cutter Batch (カッターバッチ)	印刷ジョブの終わりにラベルを一度だけ切ります。	
Offset (オフセット)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。		+000
Shift X (シフト X)	このアイテムを使用して印刷位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。		+000
Shift Y (シフト Y)			+000
Reference X (基準 X)	このアイテムを使用してプリンタの座標点システムの原点を水平および垂直に設定します。利用可能な設定値は、“0”から“9”です。		000
Reference Y (基準 Y)			000
Code page (コードページ)	このアイテムを使用して、国際文字セットのコードページを設定します。		850
Country (国)	このオプションを使用して、国コードを設定します。		001

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.4 ZPL2

この「ZPL2」カテゴリでは、ZPL2 用のプリンタ設定をセットアップすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Darkness (濃度)	このアイテムを使用して印刷濃度を設定します。設定可能な範囲は、0～30 です、各ステップは 1 ずつとなります。選択するメディアに応じて、濃度を調整する必要があります。	16

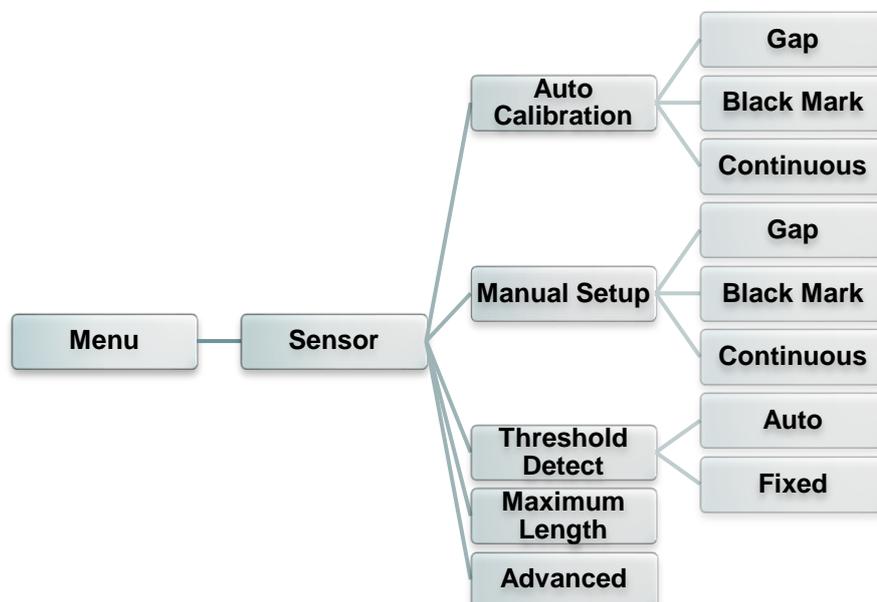
Print Speed (印刷速度)	このアイテムを使用して印刷速度を設定します。各増加/減少は1IPS ごとです。利用可能な設定は、2~6 です。	6 (203dpi) 4 (300dpi) 3 (600dpi)										
Tear Off (テアオフ)	このアイテムを使用してメディアの停止位置を微調整します。利用可能な設定値は、“+”から“-”または“0”から“9”です。	+000										
Print mode (印刷モード)	このアイテムを使用して印刷モードを設定します。以下の3つのモードがあります。 <table border="1" data-bbox="485 555 1257 801"> <thead> <tr> <th>プリンタモード</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Tear Off(テアオフ)</td> <td>次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。</td> </tr> <tr> <td>Peeler Off(ピーラーオフ)</td> <td>ラベルピールオフモードを有効化します。</td> </tr> <tr> <td>Cutter(カッター)</td> <td>ラベルカッターモードを有効化します</td> </tr> </tbody> </table>	プリンタモード	説明	Tear Off(テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。	Peeler Off(ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。	Cutter(カッター)	ラベルカッターモードを有効化します	Tear Off (テアオフ)		
プリンタモード	説明											
Tear Off(テアオフ)	次のフォームのラベルトップは、プリンタヘッド焼付けラインの位置に並べられます。											
Peeler Off(ピーラーオフ)	ラベルピールオフモードを有効化します。											
Cutter(カッター)	ラベルカッターモードを有効化します											
Print Width (印刷幅)	このアイテムを使用して印刷幅を設定します。利用可能な値は、“0”から“9”です。	なし										
List Fonts (フォント一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォントのリストをラベルに印刷します。フォントはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Images (画像一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで使用できる画像のリストをラベルに印刷します。画像はプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Formats (フォーマット一覧)	この機能を使用して、現在プリンタで使用できるフォーマットのリストをラベルに印刷します。フォーマットはプリンタの DRAM、Flash あるいはオプションのメモ리카ードに保存されています。	なし										
List Setup (設定一覧)	この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。	なし										
Control Prefix (コントロールプレフィックス)	この機能を使用してコントロールプレフィックス文字を設定します。	なし										
Format Prefix (フォーマットプレフィックス)	この機能を使用してフォーマットプレフィックス文字を設定します。	なし										
Delimiter Char (区切り文字)	この機能を使用して区切り文字を設定します。	なし										
Media Power Up (電源オン時メディア)	このオプションを使用して、プリンタの電源をオンにした際のメディアのアクションを設定します。 <table border="1" data-bbox="485 1720 1257 1998"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Feed (フィード)</td> <td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td> </tr> <tr> <td>Calibration (校正)</td> <td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td> </tr> <tr> <td>Length (長さ)</td> <td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td> </tr> <tr> <td>No Motion (アクションなし)</td> <td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td> </tr> </tbody> </table>	選択肢	説明	Feed (フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。	No Motion (アクションなし)
選択肢	説明											
Feed (フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。											
Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。											
Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。											
No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。											

Head Close (ヘッドクローズ)	このオプションを使用して、プリンタのヘッドを閉じた際のメディアのアクションを設定します。	No Motion (アクションなし)										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>選択肢</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Feed (フィード)</td> <td>プリンタによりラベルがひとつ進みます。</td> </tr> <tr> <td>Calibration (校正)</td> <td>プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。</td> </tr> <tr> <td>Length (長さ)</td> <td>プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。</td> </tr> <tr> <td>No Motion (アクションなし)</td> <td>プリンタによりメディアが動くことはありません。</td> </tr> </tbody> </table>		選択肢	説明	Feed (フィード)	プリンタによりラベルがひとつ進みます。	Calibration (校正)	プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。	Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。	No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。
	選択肢		説明									
	Feed (フィード)		プリンタによりラベルがひとつ進みます。									
	Calibration (校正)		プリンタはセンサーのレベルを校正し、長さを決定してラベルをフィードします。									
Length (長さ)	プリンタは長さを決定してラベルをフィードします。											
No Motion (アクションなし)	プリンタによりメディアが動くことはありません。											
Label Top (ラベルトップ)	この機能を使用して、ラベルの垂直方向における印刷位置を調整します。範囲は、-120~+120ドットです。	0										
Left Position (左位置)	この機能を使用して、ラベルの水平方向における印刷位置を調整します。範囲は、-9999~+9999ドットです。	+0000										
Reprint Mode (再印刷モード)	再印刷モードが有効である場合、プリンタのコントロールパネル上の「UP(上)」ボタンを押すことで、最後のラベルプリンタを再印刷することができます。	無効										
Format Convert (フォーマット変換)	ビットマップスケーリングファクタを選択します。最初の数字は、元のdpi(ドットパーインチ)値で、2つ目の数字がスケーリングするdpi値です。	None (なし)										

注記: 付属のソフトウェアドライバを使用して印刷する場合は、ソフトウェアドライバが送出するコマンドが、フロントパネルによる設定を上書きします。

6.5 Sensor(センサー)

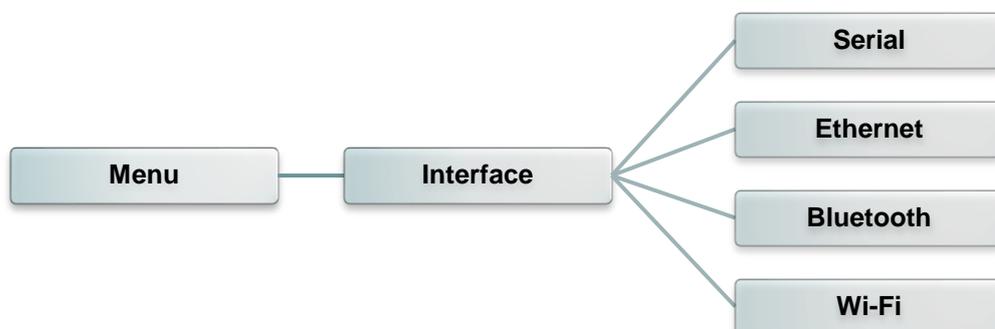
このオプションを使用して選択したセンサーを校正します。メディアを変更した際は、印刷の前にセンサーを校正することが推奨されます。



アイテム	説明	デフォルト
Auto Calibration (自動校正)	プリンタが自動的にセンサーの感度を校正するために2~3ギャップのラベルをフィードします。	なし
Manual Setup (手動設定)	「Auto Calibration(自動校正)」がメディアに適用できない場合は、「Manual Setup(手動設定)」機能を使用しセンサー感度を手動で校正してください。	なし
Threshold Detect (しきい値検知)	このオプションは、固定または自動でセンサー感度を設定するために使用されます。	Auto (自動)
Maximum Length (最大長)	このオプションは、ラベル校正の最大長を設定するために使用されます。	254mm
Advanced (詳細)	この機能を使用して、センサー感度の自動校正に対する最小用紙長さおよび最大ギャップ/Bライン長さを設定することができます。	OFF (オフ)

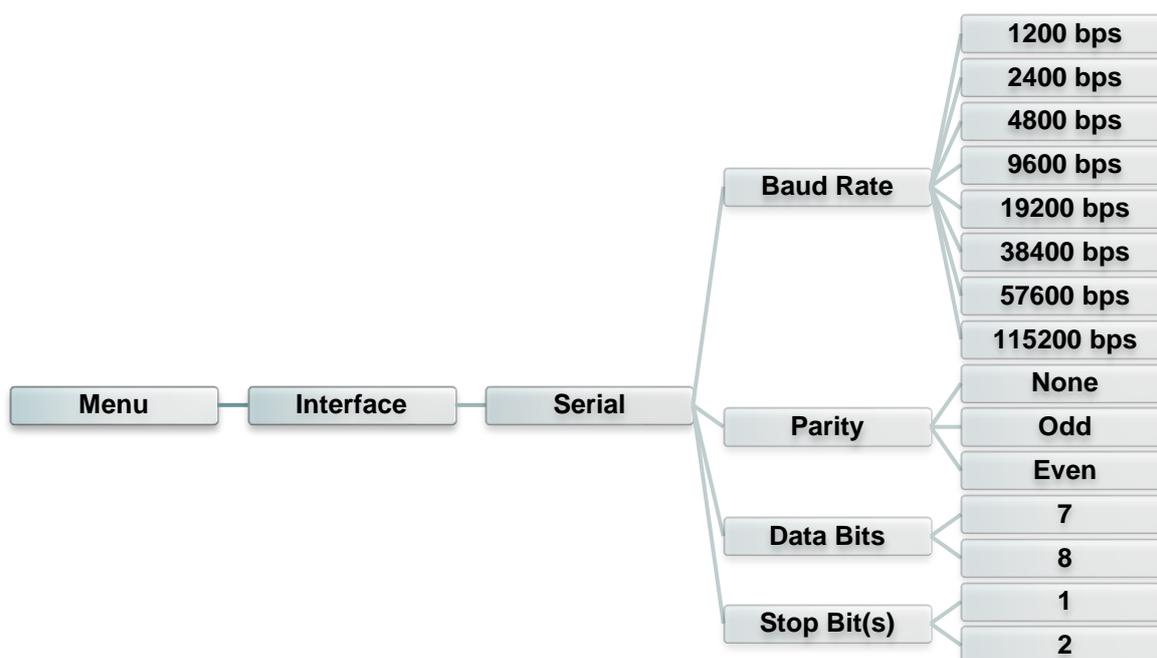
6.6 Interface (インターフェイス)

このオプションを使用して、プリンタインターフェイス設定を設定します。



6.6.1 シリアル通信

このオプションを使用して、プリンタ RS-232 設定を設定します。

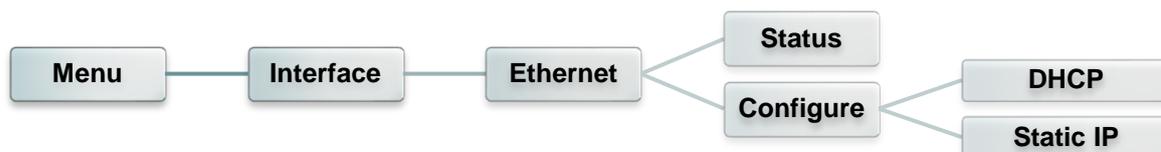


アイテム	説明	デフォルト
Baud Rate (ボーレート)	このアイテムを使用して RS-232 ボーレートを設定します。	9600
Parity (パリティ)	このアイテムを使用して RS-232 パリティを設定します。	None (なし)

Data Bits (データビット)	このアイテムを使用して RS-232 データビットを設定します。	8
Stop Bit (ストップビット)	このアイテムを使用して RS-232 ストップビットを設定します。	1

6.6.2 イーサネット

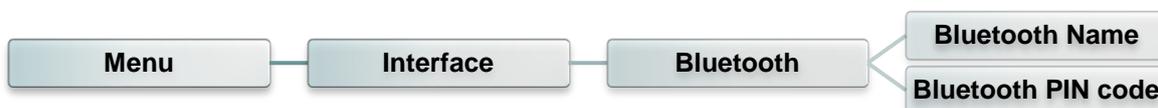
このメニューを使って、内部イーサネット設定を構成し、プリンターのイーサネットモジュールのスタートアップを確認し、イーサネットモジュールをリセットすることができます。



アイテム	説明	デフォルト
Status (ステータス)	このメニューを使用してイーサネット IP アドレスおよび MAC 設定ステータスを確認することができます。	なし
DHCP	このアイテムは、DHCP(動的ホスト構成プロトコル)ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。	なし
Static IP (スタティック IP)	このメニューを使用してプリンタの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。	ON(オン)

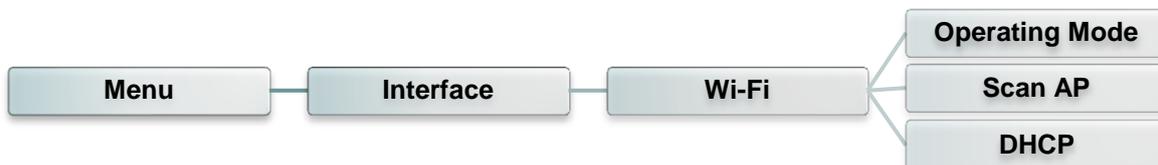
6.6.3 Bluetooth

このオプションを使用して、プリンタの Bluetooth 設定を行います。



アイテム	説明	デフォルト
Bluetooth Name (Bluetooth 名)	このアイテムは、Bluetooth のローカル名を設定するために使用されます。	BT-SPP
Bluetooth PIN Code (Bluetooth PIN コード)	このアイテムは、Bluetooth のローカル PIN コードを設定するために使用されます。	0000

6.6.4 Wi-Fi



アイテム	説明	デフォルト
Operating (動作)	このアイテムは、装置をネットワークに接続する際にワイヤレスローカルエリアネットワークの動作モードを設定するために使用されます。 注記: インフラストラクチャモードでは、この通信を行うために、アクセスポイントの使用を必要とします。 アドホックモードでは、他のコンピュータにコンピュータを直接接続します。	Infrastructure (インフラストラクチャ)
Scan AP (スキャン AP)	このアイテムは、アクセスポイント装置をスキャンするために使用されます	なし
DHCP	このアイテムは、DHCP(動的ホスト構成プロトコル)ネットワークプロトコルをオンまたはオフにするために使用されます。	ON(オン)

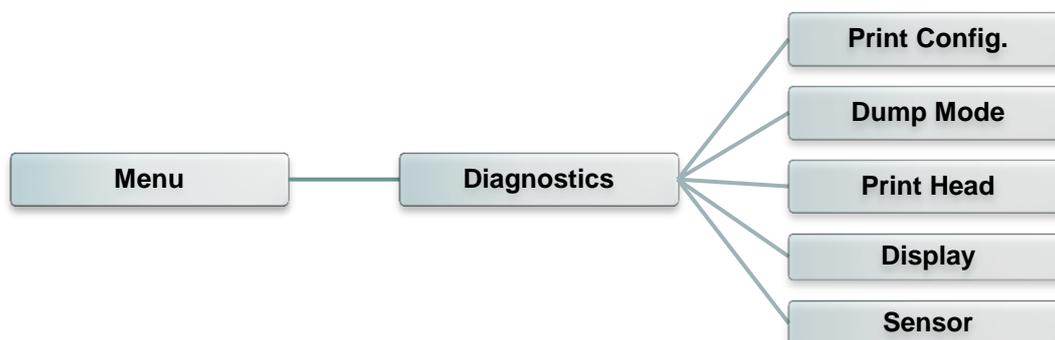
6.7 File Manager (ファイルマネージャー)

この機能を使用して、現在プリンタで使用できるメモリおよびファイルリストを確認します。



アイテム	説明
DRAM	このメニューを使用して、プリンタ DRAM メモリに保存された(.BAS)ファイルを表示、削除、実行することができます。
FLASH (点滅)	このメニューを使用して、プリンタ Flash メモリに保存された(.BAS)ファイルを表示、削除、実行することができます。
CARD (カード)	このメニューを使用して、プリンタ Card メモリに保存された(.BAS)ファイルを表示、削除、実行することができます。

6.8 Diagnostics (診断)

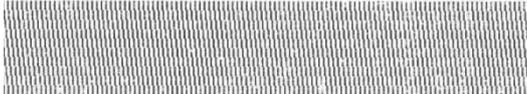


6.8.1 Print Config. (印刷設定)

この機能を使用して、現在のプリンタ構成をラベルに印刷します。構成印刷にはプリンタヘッドテストパターンが印刷され、プリンタヘッドのヒーター部にドットの破損があるかを確認するのに役立ちます。



セルフテスト印刷	
----- SYSTEM INFORMATION -----	
MODEL: XXXXXX	モデル名
FIRMWARE: X.XX	ファームウェアバージョン
CHECKSUM: XXXXXXXX	ファームウェアチェックサム
S/N: XXXXXXXXXXXX	プリンタシリアル番号
TCF: NO	TSC 構成ファイル
DATE: 1970/01/01	システム日付
TIME: 00:04:18	システム時刻
NON-RESET: 110 m (TPH)	印刷されたマイルージ(メートル)
RESET: 110 m (TPH)	カット回数
NON-RESET: 0 (CUT)	
RESET: 0 (CUT)	

<pre> ----- PRINTING SETTING ----- SPEED: 5 IPS DENSITY: 8.0 WIDTH: 4.00 INCH HEIGHT: 4.00 INCH GAP: 0.00 INCH INTENSION: 5 CODEPAGE: 850 COUNTRY: 001 ----- </pre>	<p>印刷速度(インチ/秒) 印刷濃度 ラベルサイズ(インチ) ギャップ距離(インチ) ギャップ/ブラックマーク センサー 強度 Code page(コードページ) 国コード</p>
<pre> ----- Z SETTING ----- DARKNESS: 16.0 SPEED: 4 IPS WIDTH: 4.00 INCH TILDE: 7EH (~) CARET: 5EH (^) DELIMITER: 2CH (,) POWER UP: NO MOTION HEAD CLOSE: NO MOTION ----- </pre>	<p>ZPL 設定情報 印刷濃度 印刷速度(インチ/秒) ラベルサイズ コントロールプレフィックス フォーマットプレフィックス 区切り文字プレフィックス プリンタ電源オン動作 プリンタヘッドクローズ動作</p>
<pre> ----- RS232 SETTING ----- BAUD: 9600 PARITY: NONE DATA BIT: 8 STOP BIT: 1 ----- </pre>	<p>RS232 シリアルポート構成</p>
<pre> ----- DRAM FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre>	<p>ダウンロード済みファイル数 総合 & 空きメモリ容量</p>
<pre> ----- FLASH FILE (0 FILES) ----- PHYSICAL XXXX KBYTES AVAILABLE XXXX KBYTES ----- </pre>	
	<p>プリンタヘッド チェックパターン</p>

注記:

ドット破損の確認は幅 4 インチの用紙幅を必要とします。

6.8.2 Dump Mode(ダンプモード)

通信ポートからデータを取り入れ、プリンタが受信したデータを印刷します。ダンプモードでは、すべての文字が2列に印刷されます。左側の文字はお客様のシステムから受け取られたもので、右側のデータは文字に対応する16進値です。これにより、ユーザーやエンジニアがプログラムの検証とデバッグを行うことができます。



```
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D „TEST2. 44 20 22 54 45 53 54 32 2E
DAT“,5,CL 44 41 54 22 2C 35 2C 43 4C
S DOWNLO 53 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F
AD F,“TES 41 44 20 46 2C 22 54 45 53
T4.DAT“,5 54 34 2E 44 41 54 22 2C 35
,CLS DOW 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F 57
NLOAD „TE 4E 4C 4F 41 44 20 22 54 45
ST2.DAT“, 53 54 32 2E 44 41 54 22 2C
5,CLS DO 35 2C 43 4C 53 0D 0A 44 4F
WNLOAD F, 57 4E 4C 4F 41 44 20 46 2C
„TEST4.DA 22 54 45 53 54 34 2E 44 41
T“,5,CLS 54 22 2C 35 2C 43 4C 53 0D
DOWNLOAD 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 41 44
“TEST2.D 20 22 54 45 53 54 32 2E 44
AT“,5,CLS 41 54 22 2C 35 2C 43 4C 53
DOWNLOA 0D 0A 44 4F 57 4E 4C 4F 4I
D F,“TEST 44 20 46 2C 22 54 45 53 54
4.DAT“,5, 34 2E 44 41 54 22 2C 35 2C
CLS 43 4C 53 0D 0A
```

ASCII データ

ASCII データの左側列に関連する 16 進法データ

注記:

ダンプモードには幅 4 インチの用紙幅が必要です。

6.8.3 Print Head(プリンタヘッド)

この機能は、プリンタヘッドの温度、抵抗、および、不良ドットを確認するために使用されます。



6.8.4 Display(ディスプレイ)

この機能は、LCD の色の状態をチェックするために使用されます。



6.9 Advanced(詳細)

この機能を使用して、プリンタの LCD 設定を行います。



アイテム	説明
Display Brightness (ディスプレイの明るさ)	こちらのアイテムは、ディスプレイの輝度の設定に使用されま す。
Date & Time (日付&時刻)	このアイテムは、ディスプレイの日付および時刻を設定するた めに使用されます。
Language(言語)	このアイテムは、ディスプレイの言語を設定するために使用され ます。

6.10 Service(サービス)

この機能を使用してプリンタ設定を初期設定に戻し、プリンタマの情報を確認します。



アイテム	説明
Initialization (初期化)	この機能は、プリンタ設定を初期設定に復元するために使用されます。
Printer Information (プリンタ情報)	この機能は、プリンタのシリアル番号、印刷されたマイレージ(m)、印刷されたラベル(個)およびカット回数をチェックするために使用されます。
Contact us (連絡先)	この機能は、技術サポートサービスの連絡先情報を確認するために使用されます。

7. トラブルシューティング

次のガイドは、本バーコードプリンタの操作中に発生する可能性のある最も一般的な問題点をリストアップしています。推奨されるすべての解決策を実行してもプリンタが正常に機能しない場合は、購入した小売店または販売業者の技術サポートサービスにお問い合わせください。

問題	考えられる原因	回復手順
 電源インジケータが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> * 電源コードが正しく接続されていない場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源コードをプリンタとコンセントに繋いでください。 * プリンタの電源を入れます。
 LED が点灯します(キャリッジオープン)	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタヘッドが開いています。 	<ul style="list-style-type: none"> * プリンタキャリッジを閉じてください。
 LED が点灯します(リボンがありません)	<ul style="list-style-type: none"> * リボン切れです。 * リボンが正しく取り付けられていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいリボンロールを補充します。 * リボンロールを再補充するには、セクション 3.2 の手順を参照してください。
 LED が点滅します	<ul style="list-style-type: none"> * リボンが間もなく切れます 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいリボンロールを補充します。
 LED が点灯します(紙切れです)	<ul style="list-style-type: none"> * ラベル切れです。 * ラベルが正しく取り付けられていません。 * ギャップ/ブラックマークセンサーが校正されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 新しいラベルロールを補充します。 * ラベルロールを再補充するには、セクション 3.3 の手順を参照してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーを校正してください。
 LED が点滅します(紙詰まりです)	<ul style="list-style-type: none"> * ギャップ/ブラックマークセンサーが正しく設定されていません。 * ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * ラベルがプリンタ機構内に詰まっている可能性があります。 	<ul style="list-style-type: none"> * メディアセンサーを校正してください。 * メディアサイズを正しく設定してください。 * プリンタ機構内に詰まったラベルを取り除いてください。
 LED が点灯します(その他のエラー)	<ul style="list-style-type: none"> * メモリが不足しています * プリンタヘッドが過熱しています * カッターエラー/カッタージャムです 	<ul style="list-style-type: none"> * FLASH/DRAM 内の未使用ファイルを削除してください。 * プリンタヘッドがクールダウンするまで待機します。 * カッターモジュール内に詰まったラベルを取り除いてください。
印刷できない	<ul style="list-style-type: none"> * インターフェイスケーブルがインターフェイスコネクタにしっかり接続されているか確認してください。 * ワイヤレスまたは Bluetooth デバイスがうまくホストとプリンタの間に接続されているか確認してください。 * Windows ドライバで指定されたポートが正しくありません。 	<ul style="list-style-type: none"> * ケーブルをインターフェイスに再接続するか、新しいケーブルに交換してください。 * シリアルケーブルを使用している場合は、ケーブルをピンツーピン接続と交換してください。 * ボーレート設定を確認してください。プリンタのデフォルトのボーレート設定は 9600、n、8.1 です。 * イーサネットケーブルを使用している場合は、

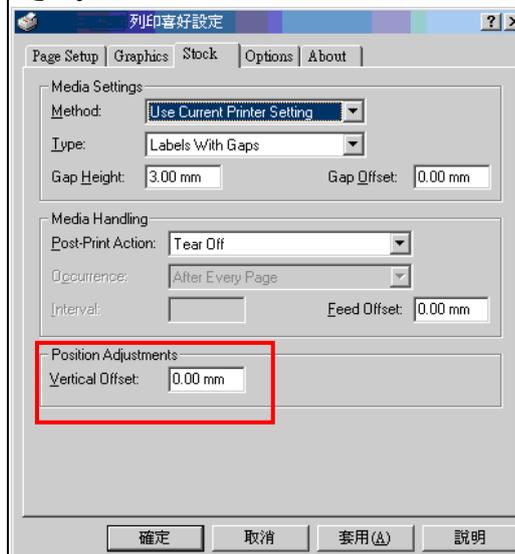
		<ul style="list-style-type: none"> - イーサネット RJ-45 コネクタの緑の LED が点灯しているかを確認します。 - イーサネット RJ-45 コネクタのオレンジ色の LED が点滅しているかを確認します。 - DHCP モードを使用している際にプリンタが IP アドレスを取得しているかどうかを確認します。 - スタティック IP アドレスを使用している際に IP アドレスが正しく取得されているかを確認します。 - プリンタがサーバと通信する間数秒間待ち、その後 IP アドレス設定を再度確認してください。 * ワイヤレスデバイスの設定をリセットしてください。 * ドライバの正しいプリンタポートを選択してください。 * プリンタヘッドのハーネスコネクタがプリンタヘッドと正確に接続されていません。プリンタの電源を切り、コネクタを接続し直します。 * プログラム上で、PRINT (印刷) のコマンドがファイルの終わりにあるか、また各コマンドラインの終わりに CRLF があることを確認します。
ラベルに印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> * ラベルまたはリボンが正しくセットされていません。 * 違ったタイプの紙またはリボンが使用されています 	<ul style="list-style-type: none"> * メディアおよびリボン取り付けの指示に従ってください。 * リボンとメディアが互換していません。 * リボンのインク塗装面を確認します。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。
印刷の質が悪い	<ul style="list-style-type: none"> * リボンとメディアの取り付けが不適切です。 * プリンタヘッドに汚れや粘着物が付着しています。 * 印刷濃度が正しく設定されていません。 * プリンタヘッドエレメントが破損しています。 * リボンとメディアが互換していません。 * プリンタヘッド圧力が正しく設定されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> * 電源装置をリロードします。 * プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。 * 印刷濃度と印刷速度を調整します。 * プリンタのセルフテストを実行し、パターンにドットの欠落がないかプリンタヘッドのテストパターンを点検します。 * 適切なリボンおよびラベルメディアに交換します。 * リリースレバーがプリンタヘッドに正しく嵌まっていません。
ラベルを取る	<ul style="list-style-type: none"> * ピール機能が有効です。 	<ul style="list-style-type: none"> * ピーラーモジュールが取り付けられている場合は、ラベルを取り除いてください。 * ピーラーモジュールがプリンタ正面に取り付けられていない場合は、プリンタの電源を切り、取り付けてください。 * コネクタが正しく接続されているか確認してください。
カッターが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> * コネクタが緩んでいます。 * カッタージャムです。 * カッターPCB が破損しています。 	<ul style="list-style-type: none"> * 接続ケーブルを正しく接続してください。 * ラベルを取り除きます。 * ラベル厚が 0.19 mm 以下か確認してください。 * カッタードライバ IC ボードを交換します。

メモリ(FLASH/DRAM/カード)にファイルをダウンロードすることができません	* メモリの容量が一杯です。	* メモリ内の未使用ファイルを削除してください。
SD カードが使用できない	* SD カードが破損しています。 * SD カードが正しく挿入されていません。 * 認定 SD カード製造元のカードではありません。	* サポートされている容量の SD カードを使用します。 * SD カードを挿入し直します。 * サポートされている SD カード仕様および認定 SD カード製造元については、セクション 2.2.3 を参照してください。
ラベルの左側あるいは右側に、印刷されていない部分がある	* ラベルサイズの設定が正しくありません。	* 正しいラベルサイズを設定します。
空白ラベルにグレーのラインが印刷される	* プリンタヘッドが汚れています。 * プラテンローラーが汚れています。	* プリンタヘッドの汚れを取ります。 * プラテンローラーの汚れを取ります。
印刷が不規則である	* プリンタが 16 進ダンプモードになっています。 * RS-232 設定が不適切です。	* ダンプモードをスキップするには、プリンタをオフにし、再度オンにします。 * RS-232 設定をリセット。
印刷の際に、ラベルフィードが安定していない(曲がる)	* メディアガイドがメディアの端に接していません。	* ラベルが右側に動く場合は、ラベルガイドを左に移動してください。 * ラベルが左側に動く場合は、ラベルガイドを右に移動してください。
印刷中にラベルがスキップされる	* ラベルサイズが正しく指定されていません。 * センサー感動が正しく設定されていません。 * メディアセンサーに埃が溜まっています。	* ラベルサイズが正しく設定されているか確認してください。 * 自動ギャップあるいは手動ギャップオプションによりセンサーを校正してください。 * ギャップ/ブラックマークセンサーをブローで清掃してください。
皺がよる	* プリンタヘッド圧力が正しくありません。 * リボンの取り付けが正しくありません。 * メディアの取り付けが正しくありません。 * 印刷濃度設定が不適切です。 * メディアのフィードが正しくありません。	* 適切な濃度を設定して印刷画質を向上させてください。 * ラベルガイドがメディアガイドの端に接するようになしてください。
印刷を再起動する際の RTC タイムが正しくありません。	* バッテリーが残り僅かになっています。	* メインボードにバッテリー残量があるか確認します。

小さいラベルの印刷位置が適切
ではない

- * メディアセンサー感度が正しく設定されていません。
- * ラベルサイズが正しくありません。
- * Shift(シフト) Y のパラメータが正しくありません。
- * ドライバの垂直オフセット設定が正しくありません。

- * センサー感度を再度校正します。
- * 正しいラベルサイズとギャップサイズを設定します。
- * 診断ツールを使って、Shift(シフト) Y のパラメータを微調整します。
- * BarTender ソフトウェアを使用している場合、ドライバの垂直オフセットを設定してください。



8. メンテナンス

プリンタを保守するための清浄ツールおよび方法を示します。

1. プリンタをクリーニングするには次のいずれかの材料を使用してください。

- 綿棒
- 柔らかい布
- 真空/ブロワーブラシ
- 100%エタノールまたはイソプロピルアルコール

2. 清浄は次のプロセスで行ってください

プリンタ部品	方法	間隔
プリンタヘッド	1. プリンタヘッドを清浄する前に必ずプリンタの電源を切ってください。 2. 少なくとも1分間、プリンタヘッドが冷却されるのを待ちます。 3. 綿棒と100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってプリンタヘッドの表面を拭きます。	新しいラベルロールを使う時はプリンタヘッドを拭いてください。
プラテンローラー	1. プリンタの電源を切ります。 2. プラテンローラーを回転させて、水で十分に拭いてください。	新しいラベルロールを使う時はプラテンローラーを拭いてください。
ピールバー	柔らかい布と100%エタノールを使って拭き取ります。	必要に応じて
センサー	圧縮空気または真空	毎月
外面	水で湿らせた布で拭きます	必要に応じて
内面	ブラシまたは掃除機	必要に応じて

注記:

- プリンタヘッドに手を触れないでください。うっかりヘッドに触れてしまった場合は、エタノールを使って汚れを取り除きます。

- 100%エタノールまたはイソプロピルアルコールを使ってください。医療用アルコールを使わないでください。プリンタヘッドが破損する可能性があります。
- 新しいメディアを交換したら、プリンタの性能を維持しプリンタの寿命を延ばすために、プリンタヘッドと電源センサーを定期的にクリーニングしてください。

改訂履歴

日付	内容	編集者
2015/4/15	移動部品の色(緑)に対する画像を変更	カミーユ
2015/4/20	セクション 3.2(プリンタヘッドの変更)を変更	カミーユ



TSC Auto ID Technology Co., Ltd.

本社

9F., No.95, Minquan Rd., Xindian Dist.,
New Taipei City 23141, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-2-2218-6789

ファックス: +886-2-2218-5678

ホームページ: www.tscprinters.com

電子メール: apac_sales@tscprinters.com
tech_support@tscprinters.com

Li Ze 施設

No.35, Sec. 2, Ligong 1st Rd., Wujie Township,
Yilan County 26841, Taiwan (R.O.C.)

電話: +886-3-990-6677

ファックス: +886-3-990-5577